

平成 22 年

消 防 年 報



平成23年刊行

福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び平成22年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

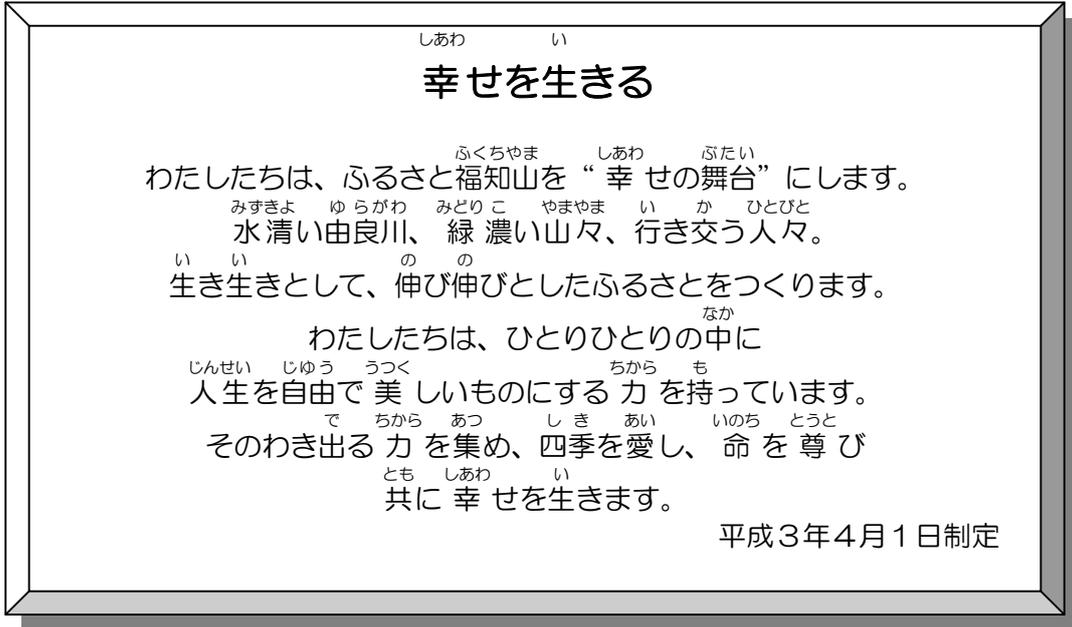
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

平成23年7月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市民憲章とは

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲章文の解説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由に美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒に広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

目 次

総 務

市勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	11
消防職員の定員及び現在員数	12
消防職員階級別年齢状況	13
消防職員階級別勤続年数	13
事務分掌	14
消防相互応援協定の締結状況	16

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	17
消防水利の状況	18
火災概要	19
累年火災比較（10年間）	20
署・分署別火災発生状況	21
地区別火災発生状況1	22
地区別火災発生状況2	23
月別火災発生状況1	24
月別火災発生状況2	25
曜日・時間別火災発生状況	26
曜日・時間別火災発生状況グラフ	27
火災原因別調べ	28
救急概要	29
署・分署別出動件数・搬送人員グラフ	30
月別救急活動状況	31
時間別事故種別搬送人員	32
年齢区分別事故種別搬送人員	33
傷病程度別性別事故種別搬送人員	34
傷病程度別年齢区分搬送人員	34
救急講習実施状況	35
過去10年間における救急出動の推移	36
救助概要	37
機械器具等の保有状況	38

予 防

防火対象物の状況	40
建築同意事務署・分署別件数	41
建築同意事務業態別棟別件数	41
消防用設備等検査状況	42
危険物施設の状況	43
危険物申請の状況	44
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	44
手数料徴収状況	44
火災予防条例等各種届出件数	45
立入検査実施状況	45
防火指導状況	46
広報活動状況	46
幼年消防クラブ活動状況	47

通信指令室

覚知別集計	48
署・分署別指令状況	49
月別指令状況	49
ドクターヘリ要請件数	49
消防通信指令施設の現況	50
消防通信指令系統図	51

消 防 団

消防団の沿革	52
消防団員・消防車両配置表	56
年齢別消防団員数	56
在職年数別消防団員数	56

水 防

水防の概要	57
水防組織と機構	58

消防トピックス

ドクターヘリ システムの概要	
東日本大地震に伴う緊急消防援助隊出動概要	
住宅用火災警報器について	

総

務



市 勢

【位 置】

福知山市は、京都府の北西部、由良川が貫流する福知山盆地の中央に位置し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあります。また、京都市・大阪市及び神戸市から70km前後のほぼ等距離にあつて、JR山陰本線・福知山線及び北近畿タンゴ鉄道（KTR）宮福線並びに舞鶴若狭自動車道、国道9号・175号・176号・426号・429号など広域幹線交通網の結節点となっており、京阪神と山陰・丹波地方を結ぶ北近畿の玄関口としての立地条件にあります。

【沿 革】

福知山市は、旧石器時代・縄文時代草創期などの遺跡が多数あり、この地方に人が住み始めた歴史が古いことを物語っています。

当地方は、京の都に近い関係もあり、古代から戦国時代にかけて中央の政変に大きな影響を受け、当地の歴史にもかなりの興亡のあとがみられます。

天正7（1579）年に明智光秀が丹波を平定し、福知山はその頃より城下町としての形態を整え、その後、明治4（1871）年の廃藩置県まで、300年近く城下町として繁栄しました。

明治に入り、22年には町村制の施行に伴い福知山町が誕生し、31年には歩兵20連隊が設置され軍都としての性格を強める一方、32年には大阪～福知山間、43年には京都～福知山間に鉄道が敷設されて北近畿の交通の要衝となり、商都としての発展をみました。

そして、昭和12年には府下で2番目に市制を施行するとともに、昭和18年には由良川改修工事が起工、昭和24年には旧電電公社の福知山電報電話局が開局、さらにその翌年には旧国鉄の福知山鉄道管理局が開局、警察予備隊（現在の陸上自衛隊）が駐屯を開始するなど、本市の骨格形成が進みました。

その後、本市発展の上で最大の課題である由良川等の河川改修と並行して、逐次都市整備が進められ、昭和49年には、内陸工業団地としてはわが国有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤が形成されました。

また、近年では、阪神地域と北近畿地域を結ぶ舞鶴若狭自動車道が本市を經由するとともに、北近畿タンゴ鉄道（KTR）宮福線・宮津線の福知山～天橋立間の電化・高速化、JR福知山線の新三田～篠山口間の電化及び複線化、JR山陰本線の園部～福知山間の電化・高速化、国道9号線土師バイパスの建設などにより広域交通網の整備が飛躍的に進展し、さらに岡・駅南地区の国道9号線拡張に着手することにより北近畿の交通の要衝としての位置付けを一層高めつつあります。

一方、こうした広域交通体系の整備と併行して、土地区画整理事業や下水道事業・都市計画道路等の整備を先進的に進めており、福知山駅周辺地域については、新しい都心地区の形成を目指した鉄道の高架と駅南北の区画整理事業、市民の命と健康を守る拠点施設である市民病院の全面

改築など、積極的な都市基盤の充実を図るなか、中心市街地においては、鉄道をテーマに活性化に向けたまちづくりに取り組んでおり、また北近畿初の4年制大学である京都創成大学（現成美大学）の開学をはじめ、文化・スポーツ・レクリエーション活動の拠点となる三段池カルチャーパークや福知山城を中心とした公園の整備に取り組んでいます。

さらには、地球規模で進む環境問題に対応するため循環型社会の構築を目的に、「リサイクルプラザ」を本格的に稼働させ、資源ゴミの循環的な再利用、環境保全の推進に取り組んでいます。

福知山市は、平成18年1月1日に三和町、夜久野町及び大江町において合併し、新しい「福知山市」として5年が経過し、自然に包まれ人々で賑わい、心豊かに暮らすことのできる『北近畿をリードする 創造性あふれるまち』として、ここに生きるすべての人がそれぞれの暮らしを通じて、ふるさと福知山を『幸せを生きる』舞台として実感できるまちづくりを推進していく中、全市的な防災体制を見直し、市民と共に「暮らしの安心・安全」を守る消防・防災拠点として、消防本部・消防署機能に加え市民防災研修機能、災害対策機能を併せ持つ「総合防災センター」の建設計画を進め、早期の運用開始を目指しています。

管内の情勢

(平成23年4月1日現在)

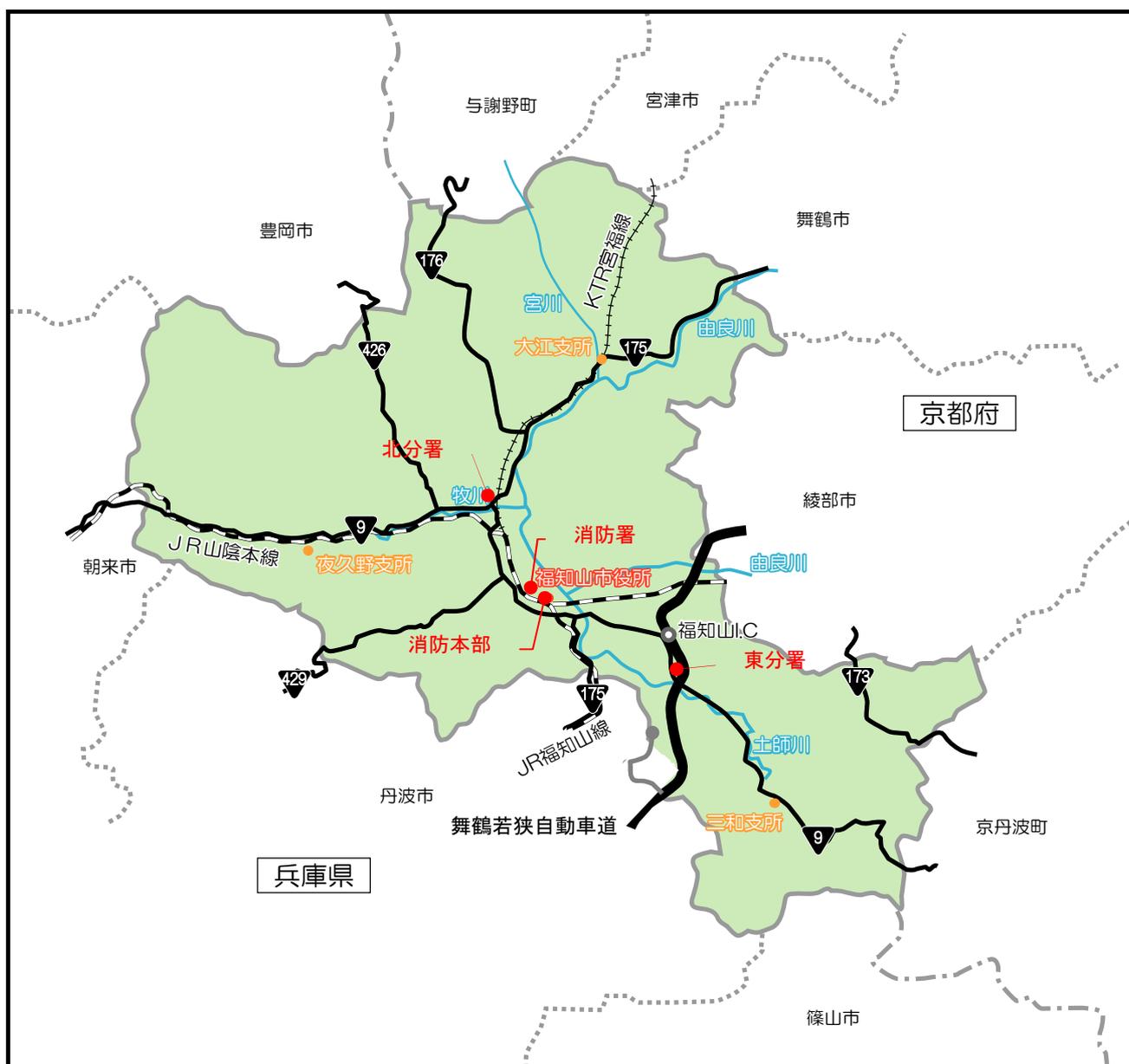
	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	552.57	81,407	34,738
消防職員一人あたりの割合 (職員数 114人)	4.85	714.10	304.72

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135° 07'	35° 17'

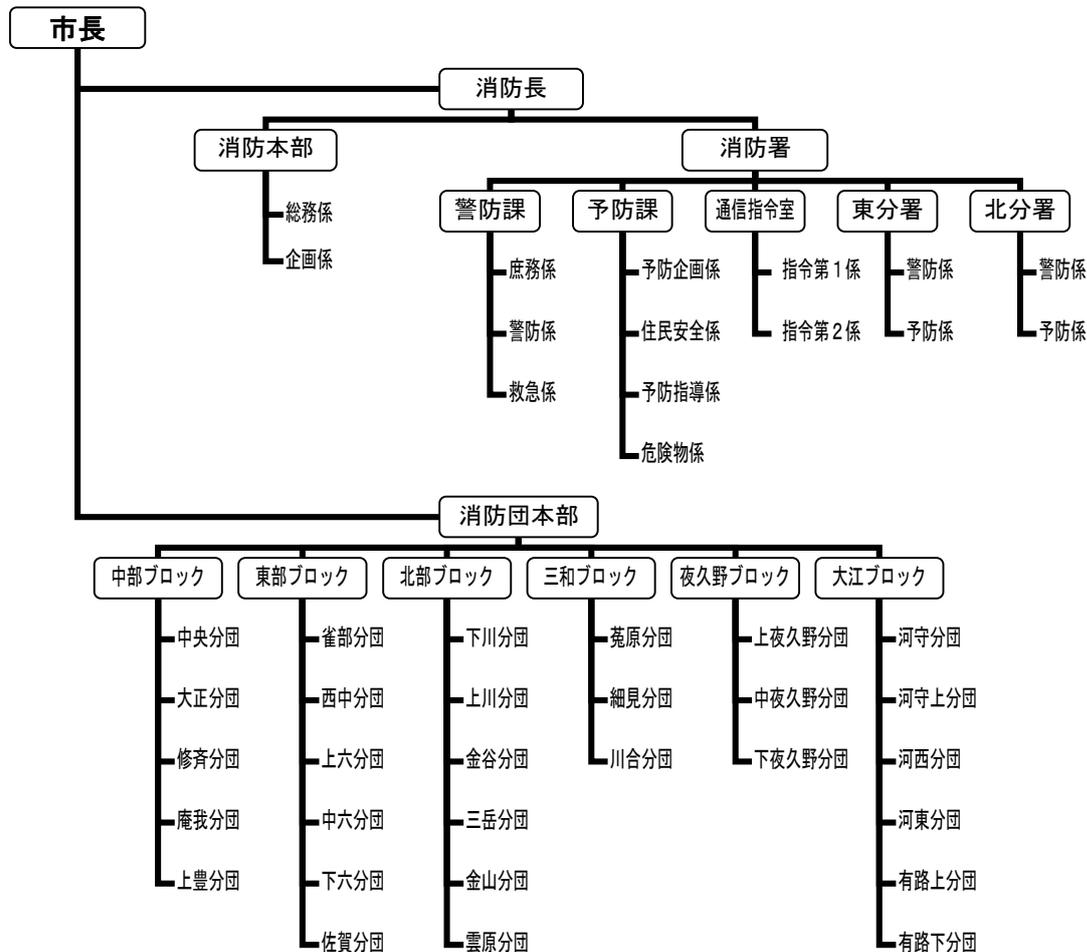
市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ	サツキ	ウグイス	ドッコちゃん
カシ	キキョウ	キジ	
ヒノキ	ハギ		酒呑童子
ウメ	レンゲツツジ		
	フジ		

福知山市位置・管内案内図

面積	552.57 km ²
周囲	174.20 km
海拔	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	81,407人
世帯数	34,738世帯
(人口・世帯数は平成23年4月1日現在)	



消防機構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市字内記 13番地の1 市役所庁舎2階	鉄筋コンクリート造	17,913 m ²	S51.6	
福知山消防署	福知山市字天田 小字中長戸76 (北本町一区)	鉄筋コンクリート造 2階建 延 1,255 m ²	2,150 m ²	S37.11 S54.3増築	
福知山市 防災センター 指令センター		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建 (耐火構造) 延 349 m ²	410 m ²	H9.7	
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目12-2	鉄筋コンクリート造 2階建 延 772.82 m ²	25,235 m ²	S56.9	訓練場 訓練塔
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2階建 延 419.81 m ²	1,710 m ²	S56.9	

消防の沿革

(平成23年4月1日)

○昭和23年	1月 6日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける
"	7月 4日	ポンプ車2台 定員 15名 職員4名増員 実員 19名
○昭和24年	5月31日	職員6名増員 実員 25名
"	8月18日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の3係を置く
"	12月15日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和25年	8月19日	小牧大火 集落の3分の1、16戸全焼 (2,300㎡)、損害額 12,437千円
"	11月23日	指令車 (トヨタクラウン) を購入配置
"	12月20日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車2台、普通ポンプ車1台
○昭和26年	4月11日	職員7名増員 実員 32名
○昭和28年	9月25日	台風13号襲来 由良川水位 8.1mに達し市街地全域が水没し、死者4名、重軽傷者 788名、家屋の流失 55戸、家屋の全壊 428戸、半壊 1,181戸、床上浸水 3,641戸 (内2階浸水 3,202戸)、床下浸水 195戸、その他被害総額 6,649,424千円
○昭和29年	4月 1日	職員2名増員 実員 34名
○昭和30年	1月 1日	消防本部に消防署を併設 1署3係
"	4月 1日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の8ヶ村合併により、面積 254.93k㎡、人口約 61,000人
○昭和31年	3月31日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消FM-1型無線を配置
"	9月30日	佐賀村分村合併により、面積 264.24k㎡、人口 63,220人
○昭和34年	9月26日	伊勢湾台風 由良川水位 7.1mに達し、重軽傷者 26名、家屋の流失 4戸、全壊 6戸、半壊 103戸、床上浸水 3,473戸、床下浸水 1,644戸、その他被害総額 1,164,566千円
○昭和35年	3月 5日	普通ポンプ車を購入配置 (更新)
○昭和36年	9月16日	第二室戸台風 瞬間最大風速 43mを記録し、死者3名、重軽傷者6名を出し、家屋の全壊9戸、半壊 67戸、その他被害総額 162,482千円
○昭和37年	5月 8日	内記五丁目大火 全焼 12戸、半焼 3戸、部分焼 6戸、農機工場より出火、焼失面積 2,393㎡、損害額 23,911千円
"	8月 1日	技術吏員1名増員し、危険物規制事務開始 実員 35名
"	11月20日	福知山市字天田小字中長戸 76番地に、鉄筋コンクリート2階建庁舎を建設し業務を開始 現在に至る
"	12月20日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和40年	3月31日	小牧大火 全焼 7戸、部分焼 2戸、焼失面積 782㎡、損害額 8,732千円
○昭和42年	12月 4日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始 (救急車を購入配置) 職員4名増員 実員 39名

○昭和45年	3月4日	大槻内科医院より自動二輪車4台寄贈を受ける
"	4月1日	職員1名増員 実員40名
"	11月13日	大型ポンプ車を購入配置(更新)
○昭和46年	4月1日	職員3名採用 実員40名
○昭和47年	3月15日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和48年	10月1日	職員3名増員 実員43名
"	12月13日	新町大火 全焼13戸、半焼2戸、部分焼8戸、り災世帯10世帯、り災人員43名、焼失面積1,929㎡、損害額60,708千円 消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入配置(更新)
○昭和49年	2月13日	内記六丁目大火 全焼6戸、半焼1戸、部分焼1戸、り災世帯8世帯、り災人員35名、死者1名、負傷者2名、焼失面積730㎡、損害額28,130千円
"	4月1日	消防職員7名増員 実員50名
"	5月10日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
"	5月23日	指令車(トヨタクラウン)を購入配置(更新)
"	7月1日	本部機構改革、2課5係
○昭和50年	2月27日	化学車(Ⅲ型)を購入配置
"	4月1日	消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入配置(更新) 消防職員4名増員 実員54名
○昭和51年	2月6日	農協共済より救急車(2B)の寄贈を受ける
"	5月13日	内記四丁目大火 全焼7戸、部分焼3戸、り災世帯7世帯、り災人員20名、焼失面積1,267㎡、損害額19,793千円
"	6月14日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
"	7月1日	消防職員3名採用(内1名増員) 実員55名
○昭和52年	4月1日	消防職員1名増員 実員56名
"	7月19日	指揮車(ニッサンセドリックバン)を購入配置
○昭和53年	4月1日	消防職員3名採用 実員56名
"	10月1日	消防職員2名増員 実員58名
○昭和54年	3月26日	原動機付自転車2台を購入配置
"	3月31日	福知山消防署庁舎改修
"	8月1日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和55年	1月23日	普通消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入配置
"	3月11日	日本損害保険協会より救急自動車(3B)の寄贈を受ける
"	8月1日	消防職員3名採用 実員58名
○昭和56年	1月23日	一市三町広域消防調印式挙行
"	3月9日	普通消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入配置(更新)
"	3月31日	救急車を購入配置する
"	4月1日	一市三町広域消防体制発足(事務委託方式) 消防職員21名増員 実員79名
"	9月11日	福知山市長田野町三丁目12番地の2 福知山消防署東分署庁舎完成 (RC造2階建延床面積772.82㎡) 福知山市字牧471番地の1 福知山消防署北分署庁舎完成 (RC造2階建延床面積419.81㎡)

○昭和56年	9月21日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
"	9月24日	普通消防ポンプ自動車（BD-I型）を2台購入、2分署に配置
"	9月30日	広報車を購入し、東分署に配置
"	10月1日	2分署開設し、業務開始（分署長以下13名×2分署）
"	11月20日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
"	12月1日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和57年	3月24日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
"	4月1日	消防職員4名増員 実員83名
"	12月11日	はしご付消防ポンプ自動車（24m級）を購入し消防署に配置
○昭和58年	3月31日	小型動力ポンプ（C-1級）を購入し、2分署に配置
"	4月1日	消防職員2名増員 実員85名
"	9月26日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-I型）の寄贈を受ける
"	9月29日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
○昭和59年	3月30日	救助工作車を購入し、消防署に配置
"	3月31日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（2B型）を購入配置（更新）
"	8月31日	隣接5消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和60年	4月1日	本部機構改正、3係を置く 消防職員4名採用 実員85名
○昭和61年	3月4日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型A級）を購入し、消防署に配置（更新）
"	3月5日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和62年	1月17日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
"	3月18日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
"	4月1日	消防職員5名増員 実員90名
○昭和63年	4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員91名
"	5月24日	2時36分 西中ノ町建物火災、3時50分 駅前町建物火災（道草横町）、 両火災で全焼2戸、半焼5戸、部分焼3戸、り災世帯8世帯、り災人員23名、 焼失面積709㎡、損害額47,302千円
"	10月5日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年	12月4日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成2年	3月31日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
"	4月1日	消防職員1名採用 実員91名
"	5月1日	消防職員1名増員 実員92名
○平成3年	4月1日	消防職員4名採用 実員92名
"	6月25日	JR福知山線「岡踏切」列車事故 重症者3名、中等症者16名、軽症者290名
"	8月20日	北京都信用金庫より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
○平成4年	2月5日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型A級）を購入し、東分署に配置
"	4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員93名
"	10月16日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
"	11月25日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）

○平成 5年	1月30日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
"	4月 1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員 94名
"	4月26日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2B型）の寄贈を受ける
"	7月 1日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
"	7月 1日	職員定員 104名とする
"	9月 1日	消防職員4名増員 実員 98名
"	9月17日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ型）の寄贈を受ける
"	9月30日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新）
"	11月11日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6年	4月 1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員 99名
"	5月18日	救急救命士1名資格取得
○平成 7年	1月18日	兵庫県南部地震による応援出動（～26日）
"	1月23日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
"	2月14日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
"	4月 1日	消防職員3名採用（内2名増員） 実員 101名
"	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計2名
○平成 8年	1月22日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
"	3月11日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
"	4月 1日	消防職員1名採用 実員 101名 本部・署機構改正 本部2係・署2課1室6係となる
"	4月30日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
"	5月17日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計3名
"	11月14日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
"	12月 3日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計4名
○平成 9年	4月 1日	消防職員3名採用 実員 102名
"	5月19日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計5名
"	5月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計6名
"	10月12日	自治体消防制度50周年、市制施行60周年記念行事（消防フェア福知山）開催
"	12月22日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計7名
"	12月28日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成10年	3月 3日	福知山市防災センター竣工
"	4月 1日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）運用開始 消防無線第2市波運用開始 携帯電話からの119番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
"	5月25日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計8名
"	8月27日	北分署改修工事着手
"	11月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計9名
○平成11年	4月 1日	消防職員3名採用 実員 102名 本部・署機構改正 本部2係・署2課1室2分署12係となる
"	5月14日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計10名
"	7月 1日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
"	12月 8日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計11名
○平成12年	3月 7日	消防広報誌「火の用心」創刊
"	4月 1日	消防職員2名採用 実員 102名
"	5月16日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計12名

○平成13年	1月22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
"	3月1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める
"	3月22日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
"	3月23日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
"	11月20日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計13名
○平成14年	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を購入し、消防署に配置（更新）
"	12月16日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成15年	4月1日	消防職員2名（内1名救急救命士資格取得者）採用 実員102名 救急救命士 計14名
"	12月1日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成16年	2月23日	第1回自主防火・防災リーダー養成講座実施
"	4月1日	消防職員1名採用 実員102名 予防課に住民安全係を設置。本部2係、署2課1室2分署13係となる
"	4月2日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
"	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計15名
"	9月11日	「救急フェア」開催
"	10月20日 ～21日	「台風23号災害」半壊・一部損壊63戸、浸水家屋844戸 被害額4,421,498千円。由良川水位7.55mに達する
"	11月13日	IP電話（ケイオプティコム）からの119番通報受信開始
"	11月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計16名
○平成17年	2月14日	IP電話（日本テレコム）からの119番通報受信開始
"	3月29日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員2名採用 実員102名
"	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計17名
"	6月11日	消防団緊急伝達システム 運用開始
"	8月29日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信開始
"	10月1日	IP電話（KDDI）からの119番通報受信開始
○平成18年	1月1日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
"	1月10日	IP電話（NTT西日本）からの119番通報受信開始
"	2月2日	携帯電話119番通報 直接受信開始
"	4月1日	消防職員3名採用 実員104名
"	10月29日	第1回自主防火・防災リーダー中級講座実施
"	12月21日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信終了
○平成19年	2月1日	消防ポンプ自動車（水槽付CD-I型）を購入し、北分署に配置
"	4月1日	消防職員2名採用 実員103名
"	4月1日	予防技術資格者認定制度開始
"	10月1日	携帯電話・IP電話発信位置表示通知システム導入
"	10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年 記念事業（消防防災フェア）開催
○平成20年	4月1日	消防職員5名採用 実員104名
"	9月3日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計18名
"	11月8日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成21年	3月23日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員2名採用 実員104名
"	4月22日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計19名

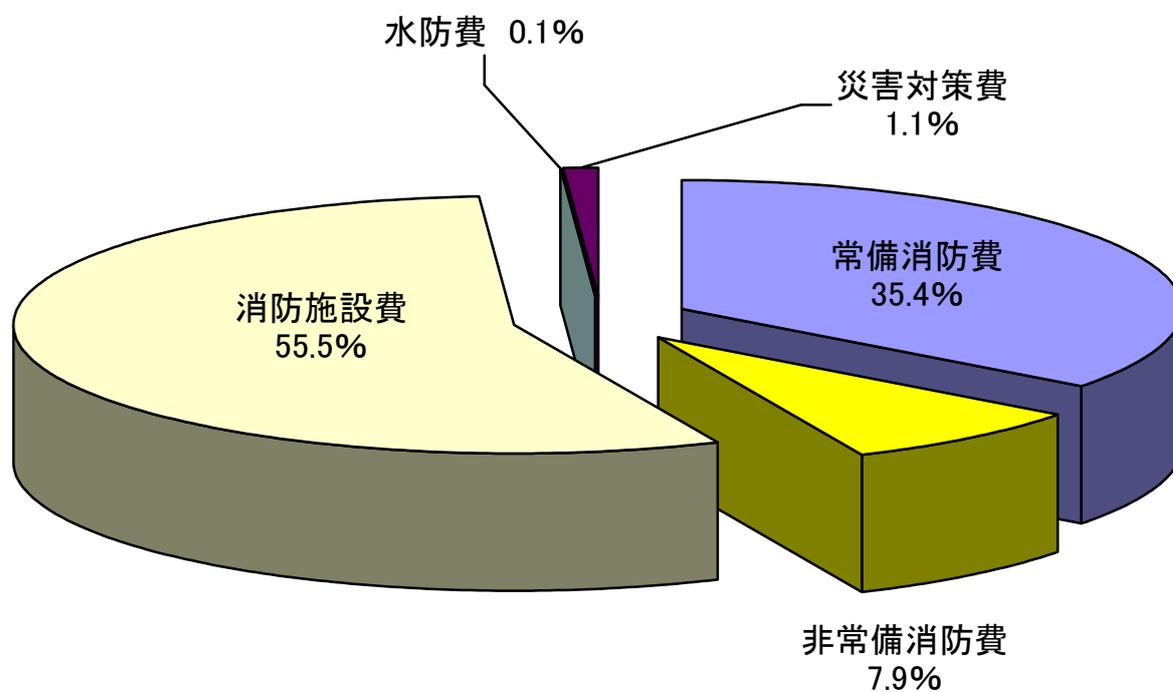
○平成21年	4月24日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計20名
○平成22年	4月1日	消防職員定数130名とする 消防職員12名採用 実員110名
〃	4月13日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計21名
〃	4月17日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
〃	5月11日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計22名
〃	6月1日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入し、東分署に配置(更新)
〃	10月14日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)の寄贈を受ける
○平成23年	3月1日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、東分署に配置(更新)
〃	3月11日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動(~4月2日)
〃	4月1日	消防職員8名採用 実員114名 北分署機構改正。増員(分署長以下22名)、および昨年度寄贈の高規格救急自動車を配置し、救急2隊運用を開始する

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）			平成23年度	平成22年度	平成21年度
年 度					
一般会計予算			39,600,000	40,130,000	37,450,000
消防費予算			2,603,067	2,090,721	1,178,610
比			6.6%	5.2%	3.2%
内 訳	常備消防費		922,286	878,259	872,719
	非常備消防費		204,874	235,157	192,964
	その他	消防施設費	1,445,193	916,838	65,204
		水防費	2,507	1,734	1,731
		災害対策費	28,207	58,733	45,992

2 平成23年度 消防予算の内訳



消防職員の定員および現在員数

(平成23年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条例定数								130
実員	1	2	22	23	26	4	35	1	114

消防職員の配置表

(平成23年4月1日)

		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計	
合計		1	2	22	23	26	4	35	1	114	
消防本部	消防長	1								1	
	次長		1							1	
	参事			1						1	
	総務係				2				1	3	
	企画係				1	2				3	
消防署	署長		1							1	
	警防課	課長			1						1
		参事			1						1
		課長補佐			1						1
		当直司令			2						2
		警備班長			1	1					2
		庶務係				2		1			3
		警防係			1		5		1		7
	救急係				1	2		1		4	
	予防課	課長			1						1
		参事			1						1
		課長補佐			1						1
		予防企画係				1	1		2		4
		住民安全係				1	1		2		4
		予防指導係			1	1	1		4		7
	通信指令室	危険物係			1		1		3		5
		室長			1						1
		室長補佐			1						1
		室員							1		1
指令第1係				1		2		1		4	
指令第2係				1	1	1			3		
東分署	分署長			1						1	
	警備班長				2					2	
	警防係			1	2	2	1	2		8	
	予防係			1	2	3		4		10	
北分署	分署長			1						1	
	警備班長			1	1					2	
	警防係			1	2	1	1	4		9	
	予防係				3	4		3		10	
初任教育入校							7		7		

消防職員階級別年齢状況

(平成23年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満							2		2
20才以上 24才以下							17		17
25才以上 29才以下					1		15		16
30才以上 34才以下					3	2			5
35才以上 39才以下					17		1		18
40才以上 44才以下				6	3	2		1	12
45才以上 49才以下			1	9	2				12
50才以上 54才以下	1		13	7					21
55才以上		2	8	1					11
合計	1	2	22	23	26	4	35	1	114
平均年齢	53.00	56.50	53.55	47.96	37.85	37.00	24.49	40.00	

消防職員階級別勤続年数

(平成23年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満		1					29	1	31
5年以上 10年未満					1	1	5		7
10年以上 15年未満					7	1			8
15年以上 20年未満					12	1	1		14
20年以上 25年未満				10	6				16
25年以上 30年未満			2	6		1			9
30年以上	1	1	20	7					29
合計	1	2	22	23	26	4	35	1	114
平均勤続年数	30.00	16.50	30.36	27.91	16.85	15.00	2.80	4.00	

事務分掌

【消防本部事務分担当表】

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 職員の研修の総括に関する事。
- 8 消防予算の調整及び執行管理に関する事。
- 9 消防に係る財産管理の総括に関する事。
- 10 消防団に関する事。
- 11 基本政策の総合企画及び調整に関する事。
- 12 条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 13 広域消防行政に関する事。
- 14 消防行政の広報に関する事。
- 15 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 16 水防協議会に関する事。
- 17 他の主管に属しない事。

【消防署事務分担当表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 消防署員の公務災害補償に関する事。
- 4 消防署の庁舎管理に関する事。
- 5 福知山市防災センターの管理に関する事。
- 6 消防署員の教養訓練に関する事。
- 7 消防関係団体に関する事。
- 8 警防計画の策定及び対策に関する事。
- 9 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 10 消防地理水利に関する事。
- 11 応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 12 火災原因の調査に関する事。
- 13 火災証明書の交付に関する事。
- 14 事業所の警防指導に関する事。
- 15 消防団との連絡調整に関する事。
- 16 救助業務に関する事。
- 17 救急業務に関する事。
- 18 搬送証明書の交付に関する事。
- 19 応急手当の普及及び啓発に関する事。
- 20 他の課及び室の主管に属しない事。

予防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 火災予防対策に関する事。
- 3 防火管理者に関する事。

- 4 防火自主点検報告表示に関する事。
- 5 防火対象物の査察及び防火指導に関する事。
- 6 予防広報に関する事。
- 7 自主防火組織等の育成に関する事。
- 8 高齢者等災害弱者に対する防火指導に関する事。
- 9 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 10 建築物の確同意務に関する事。
- 11 危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- 12 危険物施設の査察に関する事。
- 13 危険物施設管理者及び危険物取扱者の指導に関する事。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。

通信指令室

- 1 文書の収受発送に関する事。
- 2 災害通報の受付及び出動指令に関する事。
- 3 消防通信の運用に関する事。
- 4 消防隊等の出動計画に関する事。
- 5 非常召集の発令計画に関する事。
- 6 気象情報及び消防情報に関する事。
- 7 消防統計に関する事。
- 8 通信機器の保守管理に関する事。

分 署

- 1 文書の収受発送に関する事。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 分署員の公務災害補償に関する事。
- 4 分署員の教養訓練に関する事。
- 5 庁舎管理に関する事。
- 6 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 7 消防地理水利に関する事。
- 8 火災原因の調査に関する事。
- 9 事業所の警防指導に関する事。
- 10 警備計画に関する事。
- 11 救急業務及び救助業務に関する事。
- 12 消防団との連絡調整に関する事。
- 13 庶務に関する事。
- 14 火災予防対策に関する事。
- 15 防火対象物の査察及び防火指導に関する事。
- 16 防火管理者に関する事。
- 17 予防広報に関する事。
- 18 自主防火組織等の育成に関する事。
- 19 高齢者等災害弱者に対する防火指導に関する事。
- 20 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 21 建築物の確同意務に関する事。
- 22 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。

消防相互応援協定の締結状況

(平成23年4月1日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両丹都市 消防相互応援協定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成21年2月1日	市域間における 消防・救急業務
消防相互応援 に関する協定	京都中部広域 消防組合	平成20年4月1日	常備消防 における 消防・救急業務
〃	豊岡市	平成18年1月1日	市域間における 消防・救急業務
〃	朝来市	平成18年11月22日	〃
〃	丹波市	平成19年1月1日	〃
〃	篠山市	平成11年4月26日	〃
京都府広域 消防相互応援協定	京都府26市町村 ・4消防組合	平成19年3月12日	大規模災害 及び 特殊災害等
舞鶴若狭自動車道 における 消防相互応援協定	若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成21年8月1日	高速道路 における 火災・救急及び 救助業務

警

防



消防本部・署別自動車現勢一覧

(平成23年4月1日)

所属	名称	種別	車名・形式	登録年月日	定員	備考
本部	指令車	指令車	トヨタ E-GS130改	H7.1.23	6	
消防署	ポンプ1号車	ポンプ車	三菱 KK-FG72EC	H15.11.26	5	CD-I型
	ポンプ2号車	ポンプ車	いすゞ U-NKS58GR改	H5.11.11	6	CD-I型
	ポンプ5号車	ポンプ車	三菱 KC-FG538D	H8.1.19	6	CD-I型
	救助工作車	救助工作車	日野 KK-GX1JGDA改	H13.2.21	6	
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日野 KK-FD1JEDA改	H14.2.20	7	水I-A型
	梯子車	梯子付ポンプ車	日野 KL-PR4FPHF	H14.12.12	6	30m級
	救急1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H21.3.10	7	高規格
	救急2号車	救急車	ニッサン E-ALWE50改	H11.6.25	7	高規格
	指揮隊車	指揮隊車	ニッサン LC-VPE25	H16.3.23	9	
	広報車	広報車	スズキ CBA-MH21S	H16.7.30	4	
	連絡車	連絡車	ダイハツ E-L510S	H18.5.23	4	
	査察車	査察車	トヨタ E-AE114G	H8.4.30	5	
	支援車	支援車	ニッサン T-VAJC23改	H5.1.25	5	
	救援車	救援車	トヨタ CBA-TRH214W	H18.4.14	10	
署資材搬送車	資材搬送車	ニッサン L-BF22改	H元.10.5	6		
東分署	ポンプ3号車	ポンプ車	日野 BDG-XZH378M	H22.5.24	7	CD-I型
	タンク2号車	水槽付ポンプ車	いすゞ U-FRR32FBV改	H4.1.27	7	水II-A型
	化学車	化学ポンプ車	ニッサン U-CM87EE改	H5.9.17	7	II型
	救急3号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H23.2.7	7	高規格
	救急5号車	救急車	ニッサン TC-FPWGE50改	H17.3.25	6	高規格
	広報車	広報車	トヨタ T-YX78V改	H5.9.30	5	
	東資材搬送車	資材搬送車	トヨタ KF-CM85	H13.3.19	3	
北分署	ポンプ4号車	ポンプ車	日野 BDG-XZU378M	H19.1.25	5	CD-I型
	救急4号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.4.27	7	高規格
	救急6号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.10.6	7	高規格
	北指揮広報車	広報車	ニッサン UA-NT30	H17.11.18	5	

消防水利の状況

(平成23年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓		
	平成22年度		40立米以上 以 現 有	40立米未 満 現 有		平成22年度		現有
	新設	廃止				新設	廃止	
中央	2	2	106	10	4	4	1	444
大正			44	4	2			163
雀部			47	5	1			172
庵我	1	1	31	12	1	1	1	78
修斉	2	1	74	19	1			282
西中	1	1	42	6	1		1	147
下川			35	4	1			3
上豊	1	1	23	17	1			143
上六	1		20	10	1			145
中六			18	5	1			82
下六		1	56	5	1			140
上川			21	5	1			
金谷			21	7	1			
三岳			4	8	1			
金山			13	5	1			
雲原			1	1	1			
佐賀		1	8	5	2			88
長田野			112	20	1			105
菟原	1	1	57	5	1			
細見			77	1	1			
川合			50	2	1			
上夜久野			57	5	1			
中夜久野	1	1	17	4				
下夜久野			29	5	1			
河守			28		1			
河守上			25	9	2			
河西			14	4	1			
河東			34	2	1			
有路上			44	5	1			
有路下			32	2	1			
合計	10	10	1,140	192	35	5	3	1,992

火災概要

		平成22年	平成21年	前年比(△減)	
火災件数 (爆発)	建物	23 (0)	16 (0)	7 (0)	
	林野	1 (0)	0 (0)	1 (0)	
	車両	3 (0)	9 (0)	△6 (0)	
	その他	17 (0)	12 (0)	5 (0)	
	計	44 (0)	37 (0)	7 (0)	
焼損面積	建物 (㎡)	床面積	1,300	544	756
		表面積	72	149	△77
	山林原野 (a)	65	46	19	
焼損棟数 (棟)	全焼	10	6	4	
	半焼	2	0	2	
	部分焼	5	8	△3	
	ぼや	13	6	7	
り災世帯 (世帯)	全損	4	2	2	
	半損	3	0	3	
	小損	10	9	1	
り災人員 (人)		46	34	12	
死傷者 (人)	死者	1	1	0	
	傷者	9	2	7	
損害見積額 (千円)	建物	35,327	12,185	23,142	
	収容物	7,490	3,908	3,582	
	林野	0	0	0	
	車両	3,614	1,786	1,828	
	その他	3,479	0	3,479	
	爆発	0	0	0	
	計	49,910	17,879	32,031	
火災発生間隔 (日)		8.3	9.9	△1.6	
1件平均損害額 (千円)		1,134	483	651	
1日平均損害額 (千円)		137	49	88	
1件平均建物焼損面積 (㎡)		60	43	17	

累年火災比較（10年間）

		13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	
火災件数 (件)	建物	22	25	27	31	26	25	28	33	16	23	
	林野	2	4	3	6	2	3	2	1	0	1	
	車両	4	5	4	4	6	4	9	5	9	3	
	その他	16	22	13	25	19	30	12	17	12	17	
	計	44	56	47	66	53	62	51	56	37	44	
焼損面積 (m ²)	建物	床面積	1,234	2,335	2,364	1,485	764	1,646	5,447	1,269	544	1,300
		表面積	1	18	15	72	70	100	102	4	149	72
	山林原野(a)		106	463	48	72	83	195	117	49	46	65
焼損棟数 (棟)	全焼	8	11	11	7	8	7	8	10	6	10	
	半焼	1	4	5	3	1	1	2	0	0	2	
	部分焼	5	4	9	5	4	12	9	9	8	5	
	ぼや	13	14	10	22	19	16	15	18	6	13	
り災世帯 (世帯)	全損	4	11	16	4	4	5	5	5	2	4	
	半損	0	2	0	2	2	0	3	0	0	3	
	小損	13	7	9	11	15	17	9	15	9	10	
り災人員(人員)		39	52	60	45	53	55	32	56	34	46	
死傷者 (人)	死者	0	6	3	2	0	3	0	2	1	1	
	傷者	7	8	6	4	14	5	6	13	2	9	
損害見積額 (千円)	建物(収容物含む)	85,406	144,783	81,584	101,300	82,952	48,903	394,085	52,364	16,093	42,817	
	林野	0	2,042	120	0	0	0	0	0	0	0	
	車両	372	1,143	5,355	683	701	562	2,928	12,760	1,786	3,614	
	その他	541	885	394	574	108	45	791	4,794	0	3,479	
	爆発	156	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	86,475	148,853	87,453	102,557	83,761	49,510	397,804	69,918	17,879	49,910	

署・分署別火災発生状況

(平成22年中)

		消防署	東分署	北分署	計
火災件数 (件)	建 物 (爆発)	10	6	7	23
	林 野 (爆発)	1			1
	車 両 (爆発)		1	2	3
	その他 (爆発)	9	4	4	17
	計	20	11	13	44
焼損面積	建 物 (㎡)	466	675	231	1,372
	山林原野 (a)	58	2	5	65
焼損棟数 (棟)	全 焼	4	5	1	10
	半 焼	1		1	2
	部 分 焼	3		2	5
	ぼ や	8	2	3	13
	計	16	7	7	30
り災世帯 (世帯)	全 損		4		4
	半 損	1		2	3
	小 損	7		3	10
	計	8	4	5	17
り災人員 (人)		26	10	10	46
死 者 (人)		1			1
傷 者 (人)		4	2	3	9
損害見積額 (千円)	建 物	8,439	24,007	2,881	35,327
	収 容 物	2,492	1,728	3,270	7,490
	林 野				0
	車 両	1,496		2,118	3,614
	そ の 他	85	100	3,294	3,479
	爆 発				0
	計	12,512	25,835	11,563	49,910

地区別火災発生状況 1

(平成22年中)

	火災件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
中央	4	1		1	6	4	62	1			3	3	6
大正	2				2	108			1			4	5
雀部	1				1							1	1
庵我	1			2	3	54		3		1			1
修斉	2			4	6	128		23	2				2
西中			1	1	2			1					0
下川					0								0
上豊	1			2	3	110		30	1			1	2
上六					0								0
中六					0								0
下六	3			2	5	430			2			1	3
上川	1				1		1					1	1
金谷					0								0
三岳					0								0
金山					0								0
雲原	1		1	1	3			4				1	1
佐賀				1	1			1					0
菟原	1			1	2	39		1	1				1
細見					0								0
川合	1				1	206			2				2
上夜久野	2		1		3	188	9		1		1		2
中夜久野					0								0
下夜久野	1				1	17				1			1
河守				1	1			1					0
河守上					0								0
河西					0								0
河東	2				2	16					1	1	2
有路上					0								0
有路下				1	1								0
計	23	1	3	17	44	1,300	72	65	10	2	5	13	30

地区別火災発生状況 2

(平成22年中)

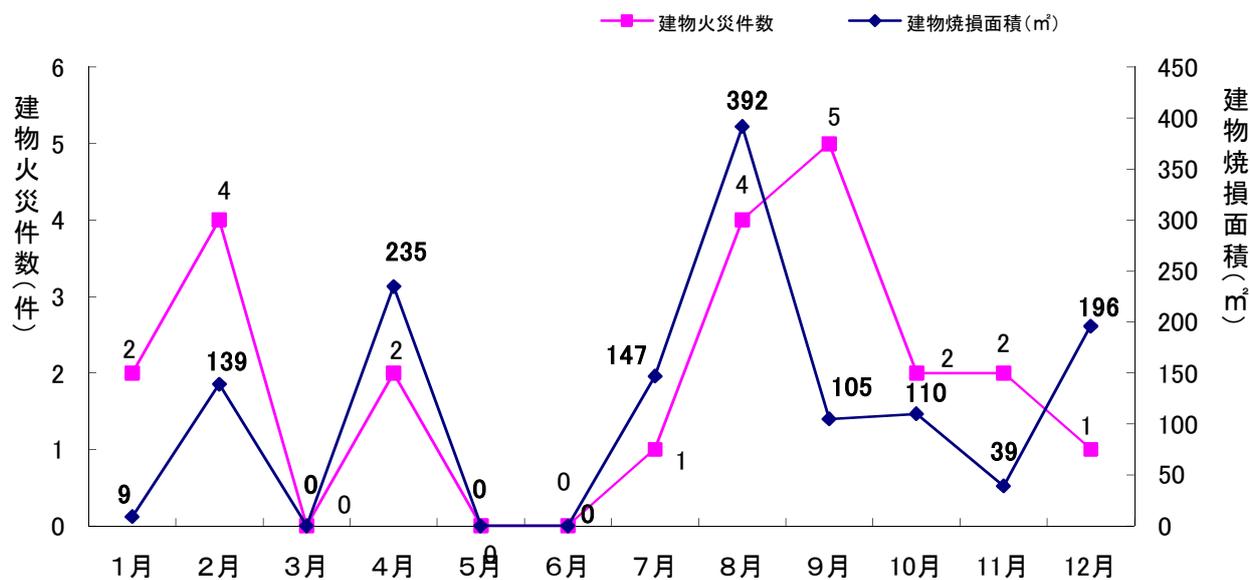
	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)					
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	計
中央			2	2	9		2	1,261	592				1,853
大正			4	4	9			1,296	1,224		272	10	2,802
雀部				0									0
庵我		1		1	5		1	1,694	54				1,748
修斉				0				875	446			118	1,439
西中				0									0
下川				0									0
上豊			1	1	3	1	1	3,313	176		1,224		4,713
上六				0									0
中六				0									0
下六	2			2	7		2	16,451	1,016				17,467
上川			1	1	3				16				16
金谷				0									0
三岳				0									0
金山				0									0
雲原				0					1		2,118	3,181	5,300
佐賀				0									0
菟原	1			1	2			6,331	669			100	7,100
細見				0									0
川合	1			1	1			1,225	43				1,268
上夜久野		1		1	1			437	3,031				3,468
中夜久野				0									0
下夜久野		1		1	1			281	16				297
河守				0									0
河守上				0									0
河西				0									0
河東			2	2	5		3	2,163	206				2,369
有路上				0									0
有路下				0								70	70
計	4	3	10	17	46	1	9	35,327	7,490	0	3,614	3,479	49,910

月別火災発生状況 1

(平成22年中)

	火災発生件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	建物 (㎡)		山林 原野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床 面 積	表 面 積						
1月	2			1	3	9		1	1			1	2
2月	4			2	6	139			1		2	1	4
3月			1	1	2			30					0
4月	2			1	3	234	1	4	1			1	2
5月		1	1	1	3			1					0
6月				2	2			22					0
7月	1		1	1	3	147			1				1
8月	4			3	7	331	61		3	1	2	4	10
9月	5			3	8	95	10	5		1	1	3	5
10月	2				2	110			1			2	3
11月	2			1	3	39		1	1			1	2
12月	1			1	2	196		1	1				1
合計	23	1	3	17	44	1,300	72	65	10	2	5	13	30

月別建物焼損面積

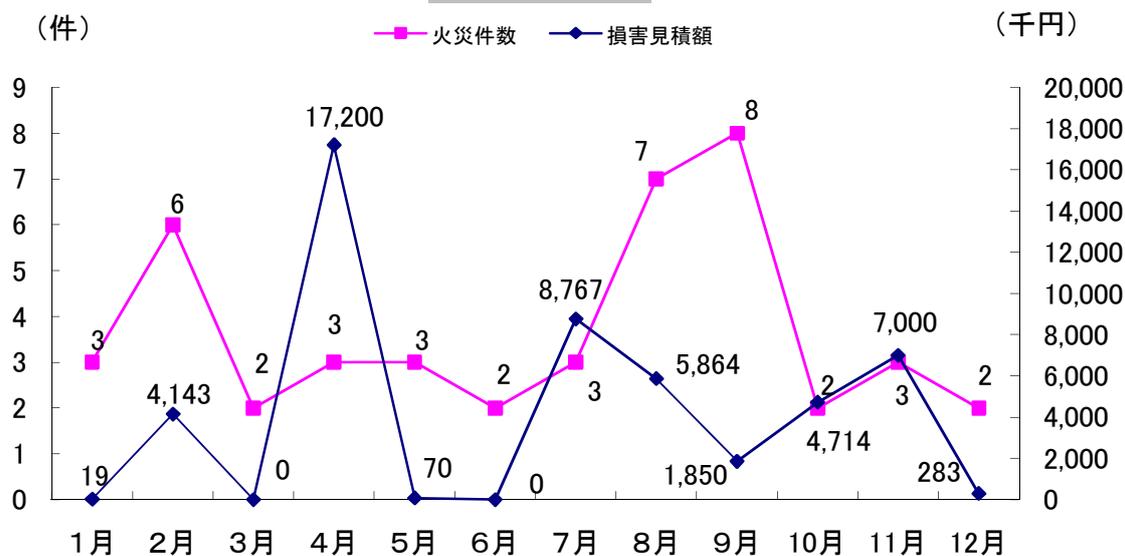


月別火災発生状況 2

(平成22年中)

	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)					
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	計
1月			1	1	4		1		19				19
2月			3	3	4	1	2	3,216	852			75	4,143
3月	1			1			1						0
4月			1	1	7		1	16,222	978				17,200
5月				0								70	70
6月				0									0
7月				0				437	3,031		2,118	3,181	8,767
8月	1	1	4	6	17		2	3,885	1,654		272	53	5,864
9月		2		2	6		1	1,694	56			100	1,850
10月			1	1	3			3,313	177		1,224		4,714
11月	1			1	2			6,331	669				7,000
12月	1			1	3		1	229	54				283
合計	4	3	10	17	46	1	9	35,327	7,490	0	3,614	3,479	49,910

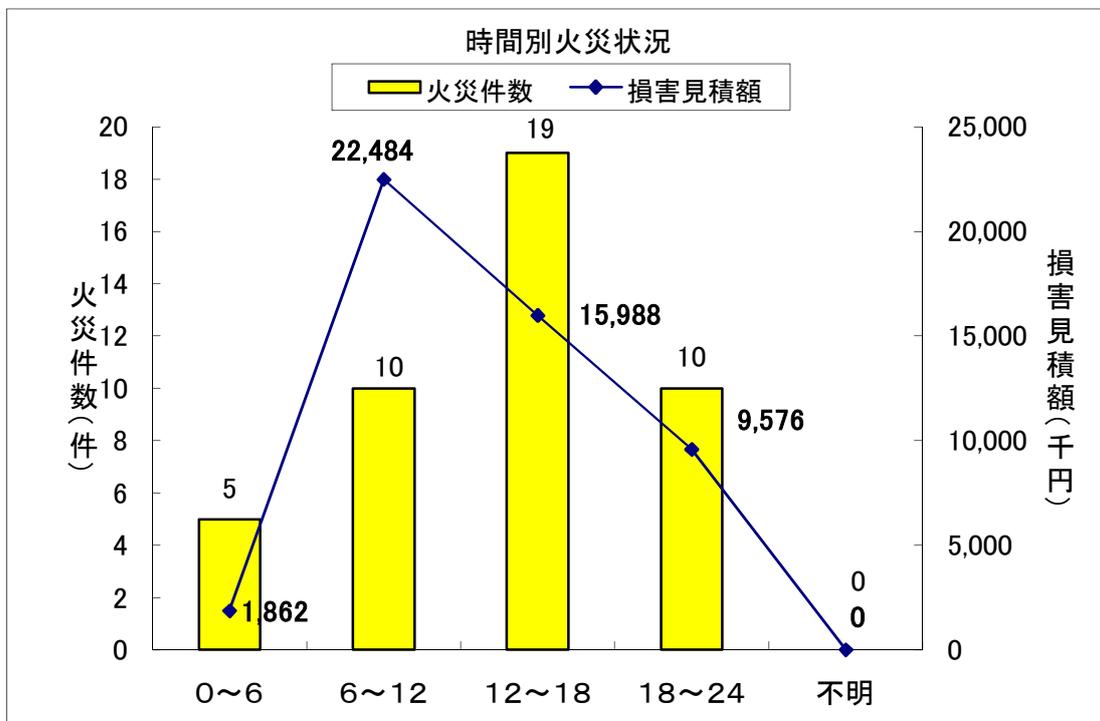
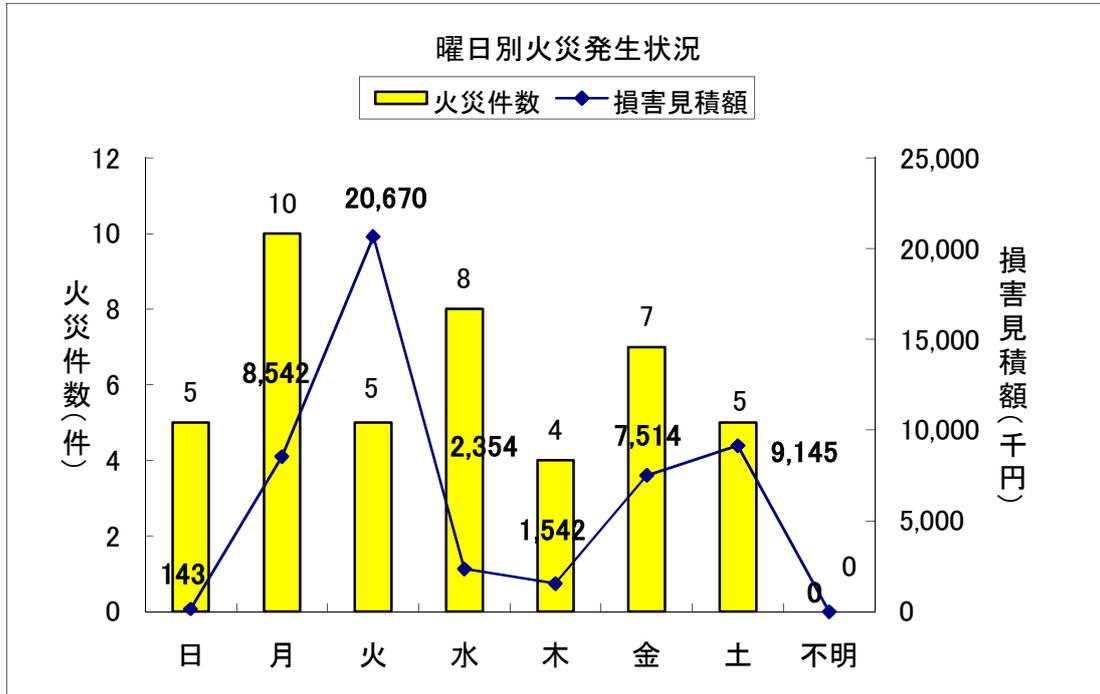
月別損害見積額



曜日・時間別火災発生状況

(平成22年中)

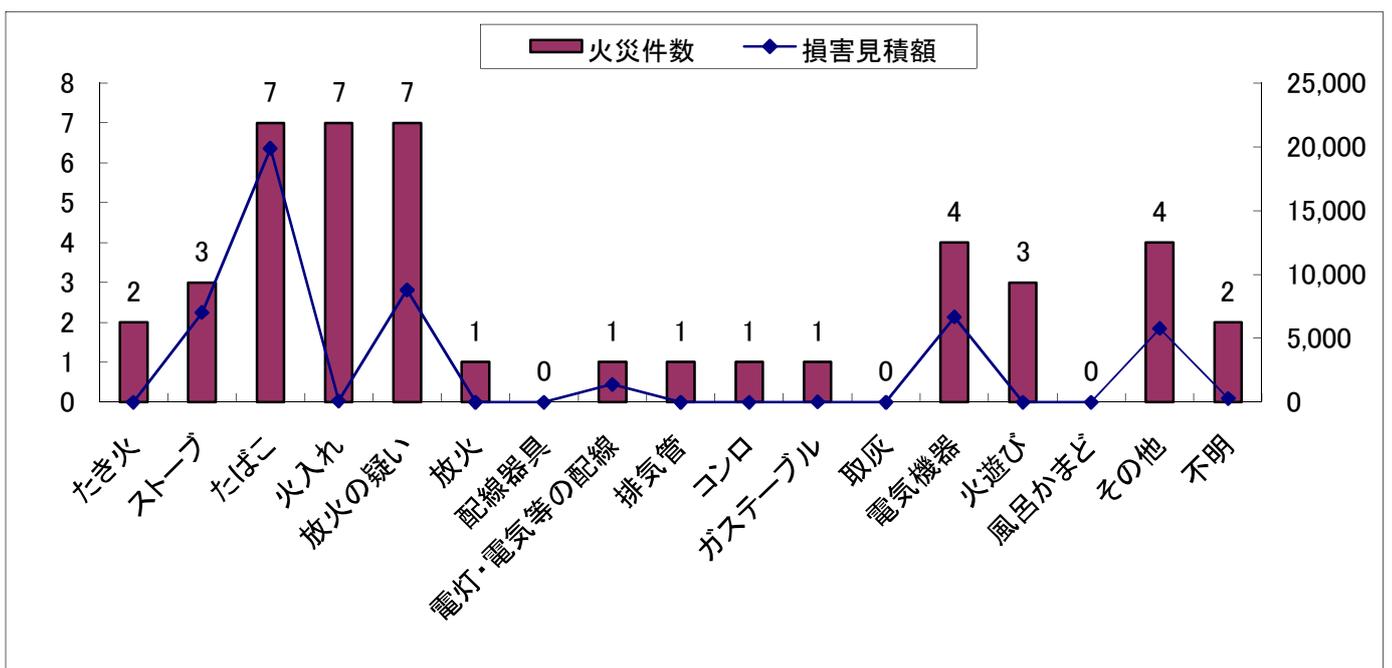
		件数 (件)	火災種別				焼損面積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	1	1						0	
	6～12								0	
	12～18	4			4			6	143	
	18～24								0	
	不明								0	
	計	5	1	0	0	4	0	0	6	143
月	0～6	1	1			119			1,395	
	6～12	4		2	2			1	5,299	
	12～18	4	2		2	402			1,551	
	18～24	1	1			17			297	
	不明								0	
	計	10	4	0	2	4	538	0	1	8,542
火	0～6								0	
	6～12	2	1		1	234		1	17,184	
	12～18	2	2			147			3,486	
	18～24	1		1					0	
	不明								0	
	計	5	3	0	1	1	381	0	1	20,670
水	0～6	1	1					1	2	
	6～12	1	1			9			1	
	12～18	5	1	1	3	16		5	2,351	
	18～24	1			1				0	
	不明								0	
	計	8	3	1	0	4	25	1	5	2,354
木	0～6	1			1				70	
	6～12								0	
	12～18	2	1		1		61		1,456	
	18～24	1	1				1		16	
	不明								0	
	計	4	2	0	0	2	0	62	0	1,542
金	0～6								0	
	6～12	3	1		2			22	0	
	12～18	1	1					30	1	
	18～24	3	3			259	9		7,513	
	不明								0	
	計	7	5	0	0	2	259	9	52	7,514
土	0～6	1	1			4			395	
	6～12								0	
	12～18	1	1			39			7,000	
	18～24	3	3			54			1,750	
	不明								0	
	計	5	5	0	0	0	97	0	0	9,145
曜日不明		0	0	0	0	0	0	0	0	



火災原因別調べ

(平成22年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見 積 額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たき火	2							1		1				0
ストーブ	3	1									1	1		7,019
たばこ	7		2		1		1		2			1		19,875
火入れ	7			1	1		1		1	2			1	100
放火の疑い	7	1							2	3	1			8,784
放火	1		1											0
配線器具	0													0
電灯・電気等の配線	1		1											1,395
排気管	1			1										0
コンロ	1		1											2
ガステーブル	1				1									16
取灰	0													0
電気機器	4							1	1	1		1		6,672
火遊び	3	1				1				1				0
風呂かまど	0													0
その他	4		1			2		1						5,764
不明	2								1				1	283
合 計	44	3	6	2	3	3	2	3	7	8	2	3	2	49,910



救急概要

(平成22年中)

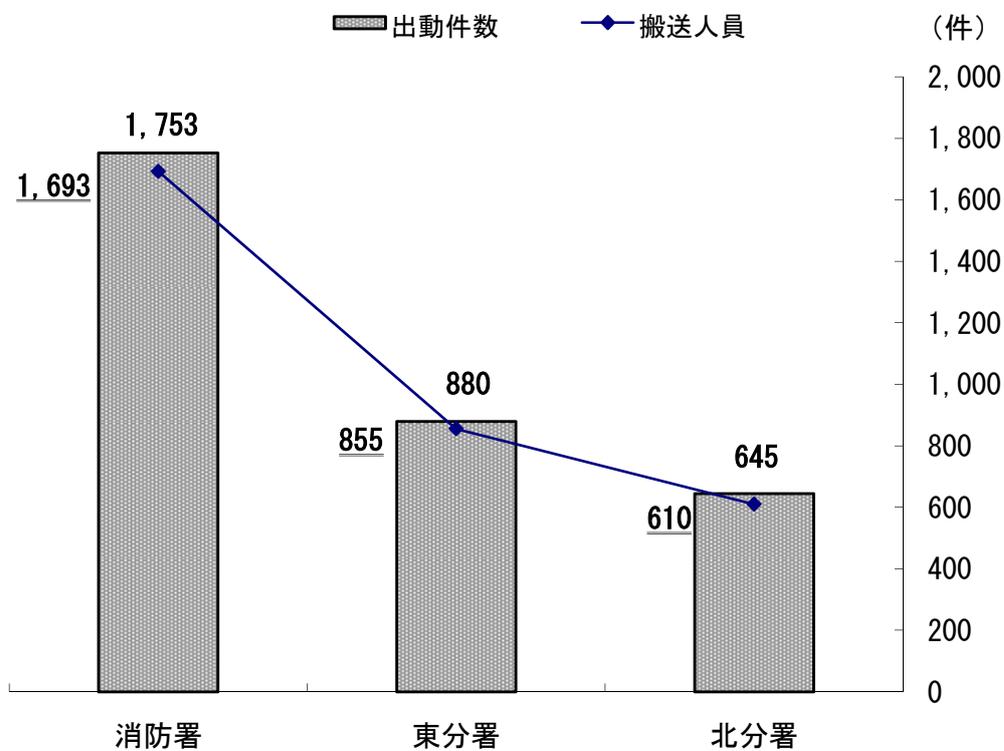
		平成22年	平成21年	前年比(△減)
出動件数(件)		3,278	2,963	315
事故種別	火災	10	7	3
	自然災害	0	1	△1
	水難	0	0	0
	交通	443	362	81
	労働災害	32	19	13
	運動競技	15	23	△8
	一般負傷	424	403	21
	加害	15	10	5
	自損行為	36	28	8
	急病	2,087	1,951	136
	その他	転院搬送	181	135
医師搬送		3	1	2
資材搬送		0	0	0
その他		32	23	9
搬送人員		3,158	2,860	298
不搬送		199	205	△6
1ヵ月平均出動件数(件)		273	247	26
1日平均出動件数(件)		8.98	8.12	0.86
平均現着所要時間(分)		8.58	8.82	△0.24

署・分署別救急活動状況

(平成22年中)

		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
消防署	出動件数(件)	7			236	11	12	213	9	20	1,075	170	1,753
	搬送人員(人)	6			250	11	12	205	8	17	1,028	156	1,693
東分署	出動件数(件)	2			125	14	2	123	4	12	583	15	880
	搬送人員(人)	1			145	14	2	118	3	10	553	9	855
北分署	出動件数(件)	1			82	7	1	88	2	4	429	31	645
	搬送人員(人)				88	8	1	84	2	3	402	22	610
合計	出動件数(件)	10	0	0	443	32	15	424	15	36	2,087	216	3,278
	搬送人員(人)	7	0	0	483	33	15	407	13	30	1,983	187	3,158

出動件 搬送人員



* 表中の二重下線の数値が、搬送人員を表す。

月別救急活動状況

(平成22年中)

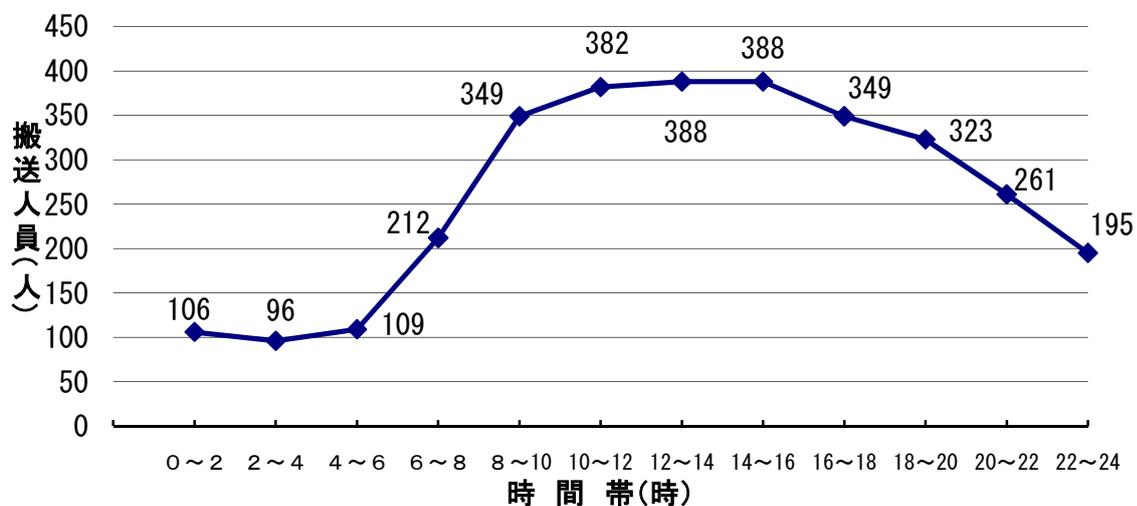
		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	2			38	3		38	1	2	178	23	285
	搬送人員(人)	1			49	3		38	1	2	169	20	283
2月	出動件数(件)	2			33	1	2	29	1	4	169	23	264
	搬送人員(人)	2			37	1	2	28	1	2	160	20	253
3月	出動件数(件)	1			22	6		35	1	2	150	17	234
	搬送人員(人)	1			23	7		33	1	2	138	17	222
4月	出動件数(件)	2			28	1	1	34	2	2	149	15	234
	搬送人員(人)	1			31	1	1	32	2	2	141	15	226
5月	出動件数(件)				31			38		2	166	18	255
	搬送人員(人)				31			36		2	160	15	244
6月	出動件数(件)				54	1	2	33	1	4	158	18	271
	搬送人員(人)				58	1	2	31	1	1	149	17	260
7月	出動件数(件)				41	3	1	34		2	194	14	289
	搬送人員(人)				43	3	1	33		2	182	12	276
8月	出動件数(件)	2			55	2	2	45	4	2	204	13	329
	搬送人員(人)	1			62	2	2	43	3	2	200	9	324
9月	出動件数(件)	1			24	4	2	30	1	7	175	19	263
	搬送人員(人)	1			24	4	2	28	1	7	174	16	257
10月	出動件数(件)				39	2	1	36	1	6	174	17	276
	搬送人員(人)				39	2	1	37	1	6	166	16	268
11月	出動件数(件)				31	7	4	39	2	1	162	26	272
	搬送人員(人)				34	7	4	37	1	1	150	21	255
12月	出動件数(件)				47	2		33	1	2	208	13	306
	搬送人員(人)				52	2		31	1	1	194	9	290
合計	出動件数(件)	10			443	32	15	424	15	36	2,087	216	3,278
	搬送人員(人)	7			483	33	15	407	13	30	1,983	187	3,158

時間別事故種別搬送人員

(平成22年中)

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				9			11	2	2	80	2	106
2～4	1			2			8		2	77	6	96
4～6				10			3		1	93	2	109
6～8	1			45			31		3	124	8	212
8～10				48	8	2	52			222	17	349
10～12				72	7	3	60		3	203	34	382
12～14	2			61	4	3	47	3	1	237	30	388
14～16	1			76	7	1	52		2	231	18	388
16～18	2			57	5	4	56		3	195	27	349
18～20				41	1	1	39	2	5	214	20	323
20～22				34	1	1	29	2	2	182	10	261
22～24				28			19	4	6	125	13	195
合計	7	0	0	483	33	15	407	13	30	1,983	187	3,158

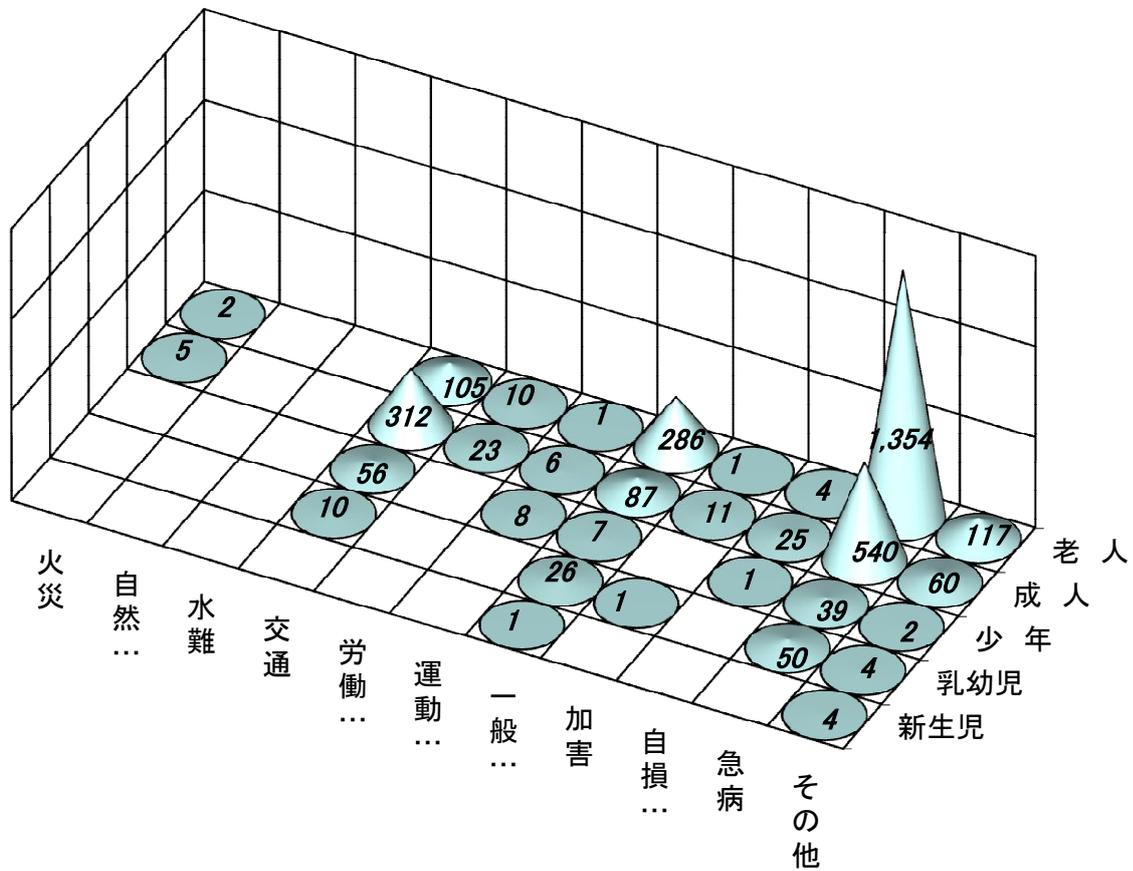
時間別搬送人員



年齢区別事故種別搬送人員

(平成22年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児							1				4	5
乳幼児				10			26	1		50	4	91
少年				56		8	7		1	39	2	113
成人	5			312	23	6	87	11	25	540	60	1,069
老人	2			105	10	1	286	1	4	1,354	117	1,880
合計	7	0	0	483	33	15	407	13	30	1,983	187	3,158



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(平成22年中)

傷病程度		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	男性				6					3	20		29
	女性				1			2		3	12	1	19
	計	0	0	0	7	0	0	2	0	6	32	1	48
重症	男性				13	2	1	8		1	65	22	112
	女性	1			4			19			54	20	98
	計	1	0	0	17	2	1	27	0	1	119	42	210
中等症	男性	1			29	12	2	34	1	5	369	59	512
	女性				23		1	82	1	8	297	60	472
	計	1	0	0	52	12	3	116	2	13	666	119	984
軽症	男性	4			220	16	8	152	6	1	589	14	1,010
	女性	1			187	3	3	110	5	9	574	10	902
	計	5	0	0	407	19	11	262	11	10	1,163	24	1,912
その他	男性											1	1
	女性										3		3
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
合計	男性	5	0	0	268	30	11	194	7	10	1,043	96	1,664
	女性	2	0	0	215	3	4	213	6	20	940	91	1,494
	合計	7	0	0	483	33	15	407	13	30	1,983	187	3,158

傷病程度別年齢区分搬送人員

(平成22年中)

	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	合計
死亡			1	17	30	48
重症	1	2		45	162	210
中等症		7	8	229	740	984
軽症	3	82	104	777	946	1,912
その他	1			1	2	4
合計	5	91	113	1,069	1,880	3,158

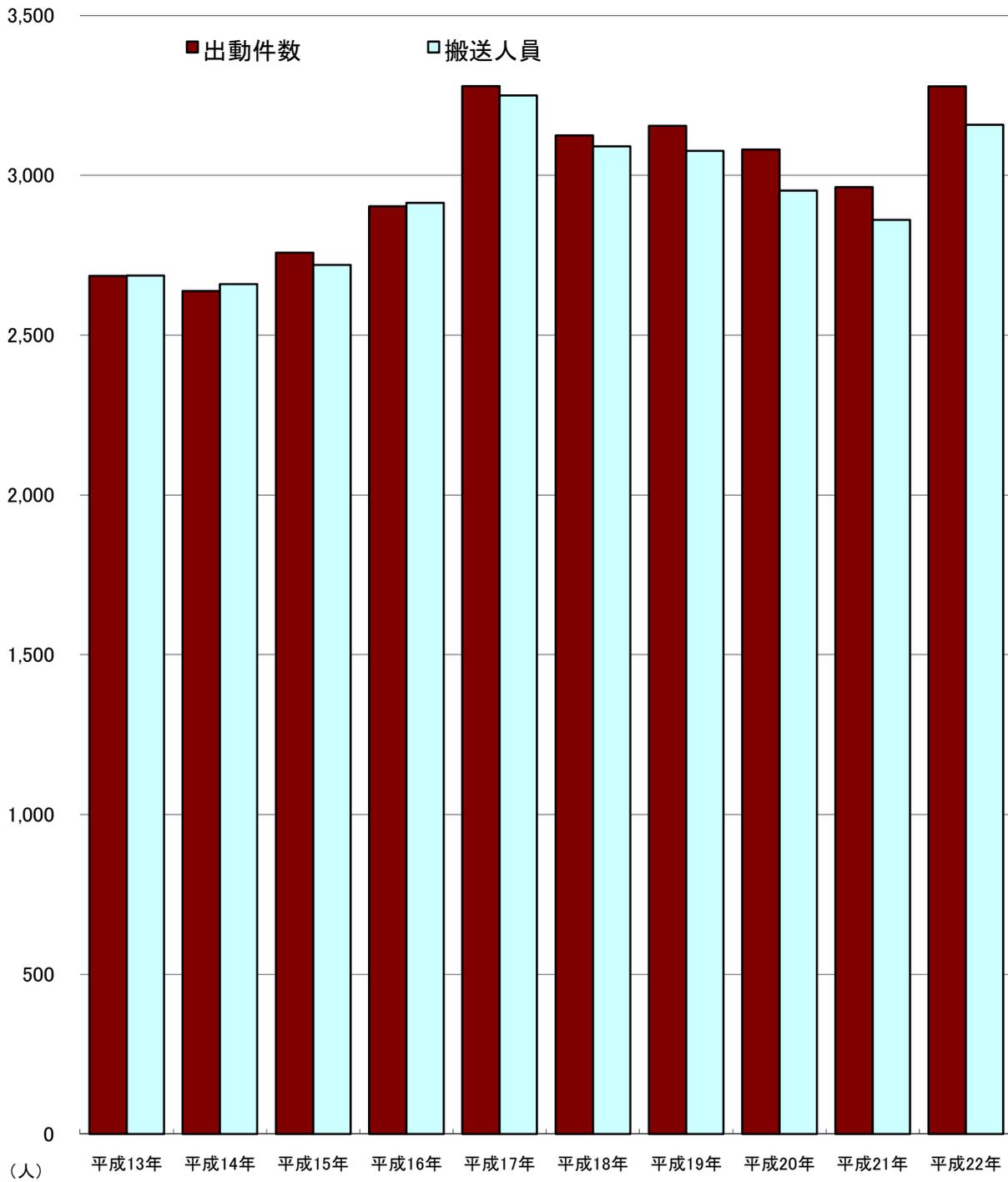
救 急 講 習 実 施 状 況 (平成23年3月31日現在)

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
市民救命士(延人数)	555	1,107	740	1,009	646	589	652
(開催回数)	22	54	32	44	37	32	45
応急手当普及員(人)	41	70	60	54	0	31	0

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市民救命士(延人数)	825	619	923	1,135	1,029	1,065	1,311
(開催回数)	46	51	62	81	78	69	73
応急手当普及員(人)	0	0	52	0	27	0	2

	平成22年度	合計
市民救命士(延人数)	1,241	13,446
(開催回数)	84	810
応急手当普及員(人)	55	392

過去10年間における救急出動の推移



	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出動件数	2,685	2,638	2,758	2,903	3,279	3,125	3,155	3,080	2,963	3,278
搬送人員	2,686	2,659	2,719	2,914	3,250	3,090	3,076	2,952	2,860	3,158

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(平成22年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況		
	火 災	交 通 事 故	水 難	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計	活 動 件 数
1 月	1	5			1					1	8	6	5
2 月	2	5		1							8	5	2
3 月	1	3			1						5	3	2
4 月	2	3									5	3	3
5 月		6								2	8	4	4
6 月		3				1				1	5	2	3
7 月	1	2			1					1	5	2	1
8 月	4	8									12	8	4
9 月	2	3				1					6	4	2
10 月	2	5									7	4	2
11 月	1	3				1					5	3	2
12 月	1	6			2		1			1	11	8	7
合 計	17	52	0	1	5	3	1	0	6		85	52	37

2 救助活動状況（前年との比較）

年 及 比	別 び 較 出 動 件 数 及 救 助 人 員	事 故 種 別									合 計	
		火 災	交 通 事 故	水 難	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故		破 裂 事 故
平成22年	出動件数(件)	17	52		1	5	3	1			6	85
	救助人員(人)		27			4	2				4	37
平成21年	出動件数(件)	9	27	1		1					5	43
	救助人員(人)		10			1					5	16
前 年 比	出動件数(件)	8	25	△1	1	4	3	1			1	42
	救助人員(人)		17			3	2				△1	21

(△印は前年より減少)

救助活動のための機械器具等の保有状況

平成23年4月

	品名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	5	3	1
	三連はしご	3	2	
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	1		
	救命索発射銃	1		
	救助縛帯	4	5	1
	平担架	1		
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2	
	可搬ウインチ	2	2	
	マンホール救助器具	1		
	マット型空気ジャッキ	1		
	大型油圧スプレッダー	1		
切断用	大型油圧切断機	1		
	エンジンカッター	4	2	2
	チェーンソー	2	3	1
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	1		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	1		
破壊器具	万能斧	8	4	1
	ハンマー	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	2		
測定用器具	可燃性ガス測定器	1	1	
	有毒ガス測定器	1		
	放射線測定器	1		

平成23年4月

	品名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	22	7	4
	防塵マスク	44	20	
	送排風機	1		
隊員保護用	耐電手袋	15	6	5
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	8	6	5
	防塵メガネ	44	20	3
	携帯警報器	9	4	3
	陽圧式化学防護服	6		
水難救助用	潜水器具		4	
	救命胴衣	49	11	10
	救命ボート	1	1	1
	船外機	1	1	1
	救命浮環	2	4	2
	流水救助器具	6		

予 防



防火対象物の状況

(平成22年度)

項別防火対象物		防火管理者選任義務対象物(法第8条)				消防用設備等設置対象物(法第17条)				
		消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計	
1	イ	劇場・映画館	1	1		2	1	1		2
	ロ	公会堂・集会場	13	4	2	19	13	5	2	20
2	イ	キャバレー・カフェー	2			2	3			3
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	3	2	9	4	3	2	9
	ハ	性風俗店舗								
	ニ	カラオケボックス等	2	1		3	2	1		3
3	イ	待合・料理店	5			5	5			5
	ロ	飲食店	65	15	10	90	77	19	19	115
4		百貨店・マーケット	95	26	16	137	121	32	27	180
5	イ	旅館・ホテル	15	5	12	32	24	8	14	46
	ロ	寄宿舍・共同住宅	35	26		61	529	286	15	830
6	イ	病院・診療所	6	1	3	10	30	8	12	50
	ロ	養護老人ホーム・特別養護老人ホーム	9	10	4	23	9	11	4	24
	ハ	軽費老人ホーム・老人福祉センター	19	11	11	41	28	19	14	61
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9	3		12	9	3		12
7		各種学校	15	15	13	43	15	16	13	44
8		図書館・博物館	3	1	2	6	4	1	2	7
9	イ	熱気蒸気等の公衆浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場		1	1	2	2	1	1	4
10		停車場								
11		神社・寺院	24	9	11	44	31	11	33	75
12	イ	工場・作業場	6	32	3	41	125	130	96	351
	ロ	映画スタジオ						1		1
13	イ	自動車車庫					27	3	4	34
	ロ	飛行機格納庫								
14		倉庫		3	1	4	131	58	30	219
15		事業所	71	28	24	123	199	71	110	380
16	イ	複合対象物	126	27	16	169	243	46	30	319
	ロ	イ以外の複合対象物	19	5	1	25	107	27	20	154
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		重要文化財		1	2	3	5	1	3	9
18		延長50 ^{メートル} 以上のアーケード					3			3
合 計			544	228	134	906	1,747	762	451	2,960

建築同意事務 署・分署別件数

(平成22年度)

		新 築	増 築	改 築	そ の 他	計 画 変 更	許 可 申 請	合 計
消 防 署	指 導 あ り	22	8	1	2	2		35
	指 導 な し	28	8	2		8	2	48
	小 計	50	16	3	2	10	2	83
東 分 署	指 導 あ り	14	11	1		3		29
	指 導 な し	18	2	2		3	2	27
	小 計	32	13	3		6	2	56
北 分 署	指 導 あ り	6	1		1			8
	指 導 な し	6	2	1		1		10
	小 計	12	3	1	1	1		18
合 計	指 導 あ り	42	20	2	3	5		72
	指 導 な し	52	12	5		12	4	85
	小 計	94	32	7	3	17	4	157

建築同意事務業態別棟別件数

(平成22年度)

項	防 火 対 象 物	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計 画 変 更	許 可 申 請	合 計
1	イ 劇 場 等							
	ロ 集 会 所 等							
2	イ キャバレー等							
	ロ 遊 技 場 等							
	ハ 性 風 俗 店 舗 等							
3	イ 料 理 店 等							
	ロ 飲 食 店	1						1
4	百 貨 店 等	2	2		1			5
5	イ 旅 館 等		1					1
	ロ 共 同 住 宅 等	16				3		19
6	イ 病 院 等	1						1
	ロ 養 護 老 人 ホ ー ム 等	3						3
	ハ 軽 費 老 人 ホ ー ム 等	1	1					2
	ニ 幼 稚 園 等							
7	学 校 等		5		1			6
8	図 書 館 等							
9	イ 蒸 気 浴 場 等							
	ロ 一 般 浴 場							
10	車 両 停 車 場							
11	神 社 等							
12	イ 工 場 等	4	2			2		8
	ロ スタジオ等							
13	イ 車 庫 等	1						1
	ロ 特 殊 格 納 庫							
14	倉 庫	6	3			2		11
15	前 各 項 以 外	13	6	3				22
16	イ 特 定 複 合	3	2		1	2		8
	ロ イ 以 外	2	1	1		1		5
17	文 化 財							
18	ア ー ケ ー ド							
専 用 住 宅 等		49	9	3		7	4	72
合 計		102	32	7	3	17	4	165

消防用設備等検査状況

(平成22年度)

	消 防 用 設 備 等	着工届出書 (累 計)	設置届出書 (累 計)	完成検査 (累 計)
消 火 設 備	消 火 器		66	62
	屋 内 消 火 栓 設 備	7	10	10
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備			
	屋 外 消 火 栓 設 備	2	5	6
	水 噴 霧 消 火 設 備			
	泡 消 火 設 備			
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備		1	
	粉 末 消 火 設 備	2	3	3
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	1	1	2
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	11	14	23
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	64	106	87
	漏 電 火 災 警 報 器	4	3	5
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 ベ ル	3	4	5
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 放 送	8	11	10
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	1	2	
	消 防 機 関 に 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	6	6	5
避 難 設 備	避 難 器 具	7	12	11
	誘 導 灯	54	75	70
	誘 導 標 識		21	21
消 防 用 水		1	1	
消 必 火 要 活 な 動 設 上 備	連 結 送 水 管	3	2	3
	連 結 散 水 設 備			
	排 煙 設 備			
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備			
	無 線 通 信 補 助 施 設			
フ ー ド 等 用 簡 易 自 動 消 火 装 置				
開 放 装 置 ・ シ ャ ッ タ ー				5
合 計		174	343	328

危険物施設の状況

(平成22年度)

	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所			合 計			
		屋内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋外	給油	販売		一般		
許 可 施 設 数	14	74	97	5	76	0	28	4	67	2	50	417		
数 量 別 数	5倍以下	0	32	10	3	34	0	28	1	3	0	19	130	
	5倍を越え 10倍以下	1	23	10	1	16	0	0	1	8	0	12	72	
	10倍を越え 50倍以下	3	12	36	1	20	0	0	2	20	2	18	114	
	50倍を越え 100倍以下	2	3	24	0	4	0	0	0	10	0	0	43	
	100倍を越え 150倍以下	3	3	4	0	1	0	0	0	11	0	0	22	
	150倍を越え 200倍以下	0	0	8	0	1	0	0	0	6	0	0	15	
	200倍を越え 1,000倍以下	4	1	5	0	0	0	0	0	9	0	0	19	
	1,000倍を 越えるもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
種 別	単 独	第1類											0	
		第2類											0	
		第3類											0	
		第4類	11	69	96	5	76	0	28	4	67	1	50	407
		第5類												0
		第6類			1									1
	混 在	3	5								1		9	

危険物申請の状況

(平成22年度)

	製造所	貯蔵所							取扱所			合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
許可	設置	0	4	0	0	1	0	1	0	1	0	1	8
	変更	8	1	10	1	3	0	2	0	10	0	21	56
完成	設置	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	変更	7	2	8	1	2	0	3	0	10	0	18	51
廃止		0	1	1	1	1	0	2	0	3	0	0	9

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(平成22年度)

製造所	貯蔵所							取扱所			仮貯蔵	仮取扱	合計
	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般			
8	1	10	1	2	0	0	0	13	0	17	0	9	61

手数料徴収状況

(平成22年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
0	49	281	236	1,511	811	0	0	2,888

(単位:千円)

火災予防条例等各種届出件数

(平成22年度)

	防火対象物使用開始届	少量危険物貯蔵取扱届	少量危険物貯蔵取扱廃止届	変電・発電・蓄電池設備設置届	炉・ボイラー設置届	指定可燃物貯蔵取扱届	指定可燃物貯蔵取扱廃止届	乾燥・厨房・サウナ設置届	ネオン管・火花発生装置設置届	温風・給湯設備設置届	ヒートポンプ・放電加工設置届	煙火打ち上げ届	催物開催届	椅子席固定免除申請書	火災とまぎらわしい届	気球設置届	喫煙等の使用申請書	防火管理者選解任届	消防計画作成届	防火対象物点検結果報告書	消防用設備等点検結果報告書	消防訓練実施通知書	合計
消 防 署	45	9	12	30	4					1	1	14	2	38	2		14	107	116	77	347	161	980
東 分 署	17	9	4	16	22	10	4	1				11	1		1		1	33	49	9	198	133	519
北 分 署	9		2	12	4	1	1			5		16	1		3		2	37	45	8	96	70	312
合 計	71	18	18	58	30	11	5	1	0	6	1	41	4	38	6	0	17	177	210	94	641	364	1,811

立入検査実施状況

(平成22年度)

種 別	実 施 日	実 施 数
指定文化財立入検査	1月	31対象物
防火対象物立入検査	年間を通じて随時	294対象物

防火指導状況

(平成22年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	8月、11月、3月	265人
	高齢者大学 防火研修会	7月	180人
自治会等	消火器・消火栓取扱訓練、自主防災組織指導	年間を通じて随時	37回、1,992人
	防火座談会、住宅用火災警報器説明会	年間を通じて随時	63回、3,130人
防火対象物	消防訓練指導	年間を通じて随時	151回、8,628人
	乙種防火管理講習(新規)	2月	15人
	甲種防火管理講習(新規)	6月、2月	142人
	甲種防火管理講習(再講習)	7月	14人
その他	消防署見学	年間を通じて随時	37回、1,521人
	起震車体験会	年間を通じて随時	20回、1,113人

(平成22年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	8月	3回、144人
	防火アドバイザー養成講座		



広報活動状況

(平成22年度)

広 報 活 動 内 容	回 数
1 巡回広報	100回
2 街頭広報	3回
3 有線利用による広報	16回
4 報道機関への情報提供	10回
5 固定放送設備による広報	12回
6 ホームページによる広報	随時

※主な広報 毎月1日『防火の日』の広報、乾燥時期の広報、夏休み事故防止の広報、年末特別火災予防広報、消火器に関する広報、各種運動期間中の広報など。

幼年消防クラブ活動状況

◎目的

幼児に消防研修を行うことにより、防火に対する正しい知識を身につけ、各幼稚園、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的とする。

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	36	2, 571
幼 稚 園	8	452

◎平成22年度実施事業

実 施 事 業	内 容
幼年消防クラブ指導者研修会(年2回実施)	普通救命講習、防火指導に関する研修、火災実験研修
巡回防火教室、起震車体験会	幼年期における防火防災学習
消防出初式、防火防災パレード	火災予防を広報し、市内をパレードする。



通信指令室



覚知別集計

(平成22年中)

災害区分	当年件数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話	駆け付け	自己覚知	事後間知	消防無線	
火災	一般建物	23	5	9	3	1			5		
	車両	3	1	1					1		
	林野	1				1					
	その他	17	4	10		2			1		
	小計	44	10	20	3	4	0	0	0	7	0
救急	火災	10	1	1	1						7
	自然災害	0									
	水難	0									
	交通	443	56	268	12	95					12
	労働災害	32	12	15	4	1					
	運動競技	15	5	6	1	1					2
	一般負傷	424	229	95	69	30		1			
	加害	15	4	4		7					
	自損	36	12	13	2	8			1		
	急病	2,087	1,213	451	314	84	7	15	1		2
	転院搬送	181	59	7	9	106					
	医師搬送	3				1			1		1
	資材搬送	0									
その他	32	3	8		2	17	1	1			
小計	3,278	1,594	868	412	335	24	17	4	0	24	
救助	火災	17	6	7	3	1					
	交通事故	52	8	33	2	9					
	水難事故	0									
	自然災害	1		1							
	機械事故	5	1	3		1					
	建物事故	3	1	1		1					
	ガス・酸欠	1		1							
	その他	6	2	3	1						
小計	85	18	49	6	12	0	0	0	0	0	
警戒	自火報発報	21	5	1		15					
	怪煙調査	21	6	5		8		1	1		
	油漏れ	11		6		4				1	
	ガス漏れ	0									
	自然災害	1	1								
	異臭調査	2		1		1					
	その他	19	2	5	2	8		1	1		
小計	75	14	18	2	36	0	2	2	0	1	
その他	訓練	57	5	51	1						
	病院紹介	48	19	22	7						
	問い合わせ	442	163	142	137						
	誤報	111	57	27	27						
	いたずら	591	57	424	110						
	119試験	5,618	4,954	510	154						
	通報訓練	397	309	57	31						
	重複	191	71	96	24						
	まちがい	167	69	69	29						
	取り消し	320	66	131	123						
その他	637	132	206	299							
小計	8,579	5,902	1,735	942	0	0	0	0	0	0	
携帯転送・伝達	舞鶴転送	0									
	綾部転送	15		15							
	中部転送	0									
	篠山転送	2		2							
	丹波転送	0									
	豊岡転送	1		1							
	朝来転送	3		3							
	綾部伝達	0									
	丹波伝達	0									
小計	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	
合計	12,082	7,538	2,711	1,365	387	24	19	6	7	25	

署・分署別指令状況

(平成22年中)

	消防署	東分署	北分署	合計
火災	20	11	13	44
救急	1,753	880	645	3,278
救助	29	26	30	85
警戒	41	22	12	75
合計	1,843	939	700	3,482

月別指令状況

(平成22年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	6	2	3	3	2	3	7	8	2	3	2	44
救急	285	264	234	234	255	271	289	329	263	276	272	306	3,278
救助	8	8	5	5	8	5	5	12	6	7	5	11	85
警戒	10	5	4	7	4	5	9	6	7	9	4	5	75
合計	306	283	245	249	270	283	306	354	284	294	284	324	3,482

ドクターヘリ要請件数

(平成22年度中)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	4	3	1	4	0	1	3	4	1	0	3	25

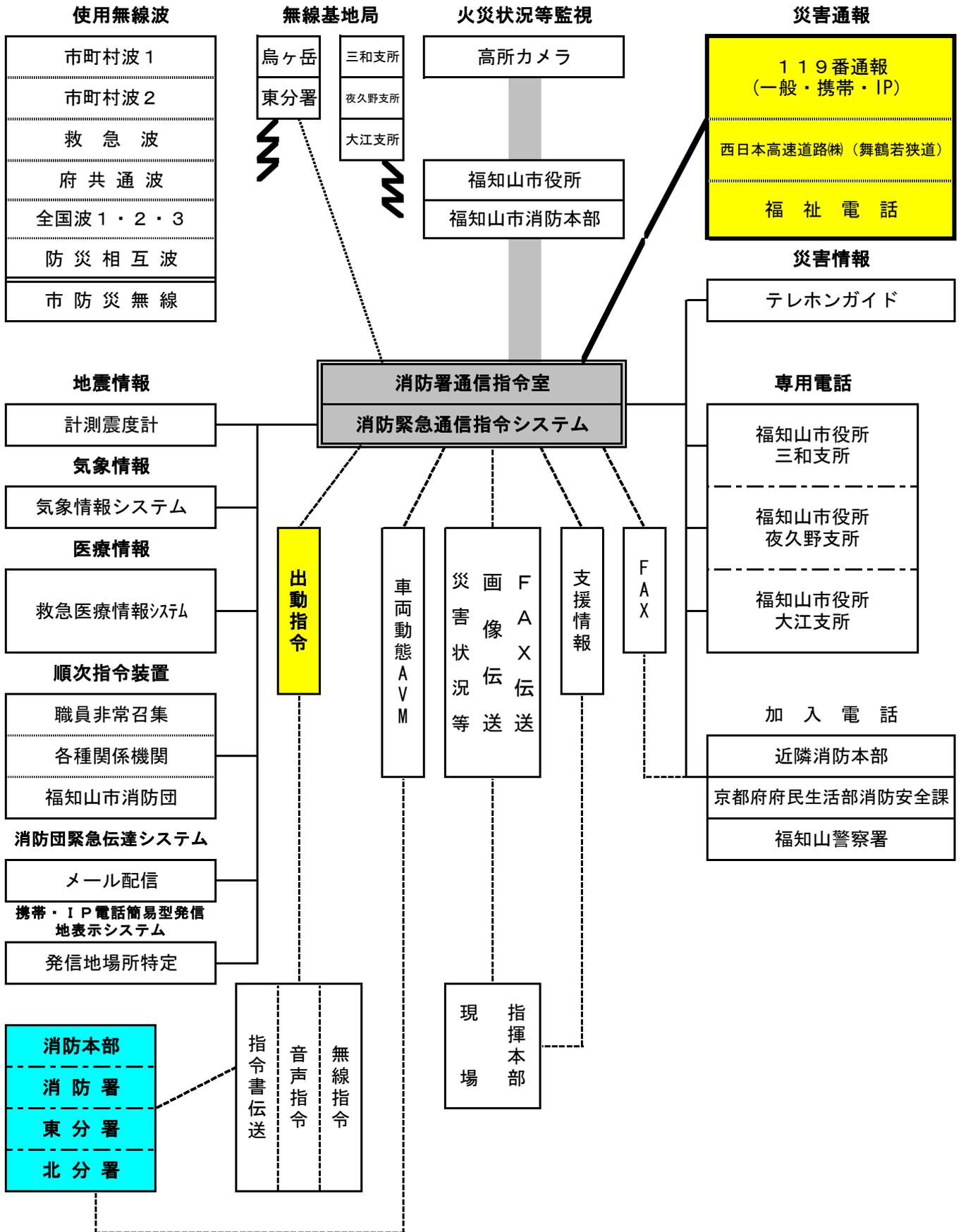
(平成22年4月17日運用開始)

消防通信施設の現況

(平成22年中)

	総数	指令室	消防本部	消防署	東分署	北分署
通報受付回線						
119専用回線	12	12				
携帯119専用回線 (ISDN)	2	2				
IP119専用回線 (ISDN)	2	2				
119衛星回線	2	2				
福祉電話回線	2	2				
西日本高速道路舞鶴若狭道回線	1	1				
緊急福祉FAX回線	1	1				
指令装置						
通信指令装置 (正副分離型)	1	1				
地図検索装置	2	2				
車両動態表示装置 (AVM表示装置)	1	1				
AVM端末装置 (車載)	19			9	6	4
無線統制台	2	2				
指令伝送出力装置	4		1	1	1	1
署所端末装置	4		1	1	1	1
車両表示盤	1	1				
携帯・IP119発信位置情報表示端末装置	1	1				
携帯119着信番号表示装置	2	2				
順次指令装置	1	1				
情報連絡回線						
テレホンガイド回線	5	5				
三和・夜久野・大江 各支所専用回線	3	3				
情報連絡装置						
携帯119転送装置	2	2				
データ修正処理装置	1	1				
消防団緊急伝達システム (メール配信)	2	1	1			
防災行政無線	1	1				
庁舎監視カメラ装置	1	1				
高所カメラ装置	1	1				
気象情報装置	1	1				
総合情報表示盤	1	1				
医療情報端末装置	1	1				
消防統計処理装置	5	1	1	1	1	1
豊富用水監視システム	1	1				
FAX装置	4	1	1		1	1
携帯FAX装置	6	1	1	2	1	1
携帯 (自動車含) 電話	12	1	1	4	3	3

消防通信指令系統図



消防団



消防団の沿革

(平成23年4月1日)

○昭和22年11月1日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6分団(惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉) 団員697名 ポンプ車6台 手引ガソリンポンプ12台
○昭和23年8月12日	団長 石坪一久 就任
○昭和24年4月1日	3村合併(西中筋村・下川口村・上豊富村)により9分団となり、消防団定員1,000人、実員1,123人となる。ポンプ車5台、ガソリンポンプ21台、腕用ポンプ45台の消防力となる
〃 10月1日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団定員1,000人、実員1,053人
○昭和30年4月1日	8村合併(上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村)により、分団数16、消防団員定数及び実員1,850人、ポンプ車7台、手引ポンプ45台、可搬動力ポンプ18台、腕用ポンプ60台の消防力となる
〃 4月6日	団長 足立秀夫 就任
〃 9月30日	上豊富分団は京都府知事表彰調査を受検 12月22日表彰旗を授与された
○昭和31年9月30日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積264.24k㎡、人口63,220人 【消防団の勢力】17分団、定員1,780人、実員1,775人 ポンプ車8台 手引ポンプ43台 可搬ポンプ23台 腕用ポンプ60台
○昭和33年3月7日	自治体消防発足10周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7月1日	団長 藤原定治 就任
○昭和35年11月20日	上川分団、京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検 12月1日表彰旗を授与される
○昭和37年1月6日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4月8日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和38年4月1日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和40年10月1日	消防団員条例定数1,400人、実員1,388人
○昭和42年4月1日	団長 芦田太郎 就任
○昭和44年4月1日	【消防団の勢力】17分団、定員1,400人、実員1,359人 消防ポンプ自動車9台 手引ポンプ8台 小型動力ポンプ65台

○昭和45年 7月 3日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始
〃 10月 5日	西中分団、修斉分団、上六分団へ各1台配置 下川分団は京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日表彰旗を授与された
○昭和46年11月 1日	下川婦人消防隊結成、隊員47名
○昭和48年 4月 1日	団長 森下文男 就任
○昭和51年 4月 1日	団長 大槻増次 就任
〃 6月14日	消防団本部を市役所庁舎へ移す 住所 福知山市字内記13番地の1
○昭和53年 8月22日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和54年 3月 5日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された
〃 4月 1日	福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和55年11月 9日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日に表彰旗を授与された
○昭和56年 4月 1日	団長 高橋昭治 就任
○昭和57年10月31日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和58年1月1日表彰旗が授与された
○昭和60年 5月30日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける
〃 8月 8日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置
〃 10月 6日	消防庁長官表彰を受検 於 市民第2グラウンド
	人 員 消防職員 85名
	消防団員 1,348名
	婦人消防隊 40名
	車 両 ポンプ車 10台
	積載車 36台
	小型動力ポンプ 34台
○昭和61年 3月	消防庁長官表彰受賞
〃 5月 1日	団長 吉竹 孝一郎 就任
〃 9月28日	雀部分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和62年1月1日表彰旗が授与された
○昭和62年10月 1日	下六分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和63年1月1日に表彰旗が授与された
○昭和63年10月13日 ～19日	京都国体警備。内福知山市分16～19日
〃 10月26日	金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）参加
〃 10月30日	大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和64年1月1日に表彰旗が授与された

○平成 元年 10月 15日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成2年1月1日表彰旗が授与された
○平成 2年 5月 1日 " 10月 21日	団長 関 宏躬 就任 修斉分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成3年1月1日表彰旗が授与された
○平成 3年 4月 1日 " 10月 13日	消防団員条例定数 1,250 人、実員 1,214 人となる 三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成4年1月1日表彰旗が授与された
○平成 4年 8月 31日 " 11月 1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第6位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成5年1月1日表彰旗が授与された
○平成 5年 10月 31日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成6年1月1日表彰旗が授与された
○平成 6年 5月 1日 " 8月 30日 " 10月 30日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成7年1月1日表彰旗が授与された
○平成 7年 11月 12日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成8年1月1日表彰旗が授与された
○平成 8年 7月 1日 " 7月 25日 " 10月 13日	消防団員アルミックス防火衣を 129 着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成9年1月1日表彰旗が授与された
○平成 9年 9月 1日 " 10月 12日	消防団員アルミックス防火衣を 185 着分支給 市制 60 周年（団発足 50 周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成 10年 8月 7日 " 12月 10日 " ~ 21日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11年 7月 1日 " 9月 9日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12年 5月 1日 " 8月 6日 " 11月 23日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第5位の成績を収める アポロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13年 10月 1日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊 17 人、福知山消防ファイヤーガード隊 13 人で発足
○平成 14年 1月 24日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」京都府知事を表敬訪問

○平成14年	5月 1日	団長 野田和則 就任
"	8月 4日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場
"	10月27日	京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成15年2月2日に表彰旗が授与された
○平成15年	11月20日	自治体消防55周年記念大会参加
○平成16年	5月 1日	団長 岸田正一 就任
"	8月 1日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成18年	1月 1日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる
		【消防団の勢力】
		団長 岸田正一
		団本部ほか29分団、定員2,160人、実員2,065人
		消防ポンプ自動車 12台
		小型動力ポンプ付積載車 11台
		小型動力ポンプ付軽積載車 77台
		小型動力ポンプ 89台
"	8月 6日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成19年	10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成20年	4月 1日	団長 足立秀幸 就任
"	7月27日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成22年	4月 1日	団長 山田浩和 就任
"	8月 1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場

消防団員・消防団車両配置表

(平成23年4月1日)

ブロック	分団名	人 員											車 両 等			
		合計	団長	※副団長	分団長	副分団長	本部長	指導部長	本部班長	部長	班長	団員	ポンプ車	積載車	軽積載車	小型ポンプ
	団本部	57	1	6						2	3	45				
中部	中央	76		1	1	1	1	1	2	6	12	52	1	5		
	大正	45			1	1	1	1	1	3	6	31	1	2		
	庵我	76			1	1	1	1	1	3	7	61		3		
	修斉	93			1	1	1	1	1	4	11	73		4	1	
	上豊	93			1	1	1	1	1	3	7	78		3		
東部	雀部	57		1	1	1	1	1	1	3	3	46		3		
	西中	84			1	1	1	1	1	3	5	71		4	1	
	上六	53			1	1	1	1	1	3	6	39		3		
	中六	53			1	1	1	1	1	3	6	39		3		
	下六	74			1	1	1	1	1	4	5	60		4	1	
	佐賀	47			1	1	1	1	1	2	4	36		2		
北部	下川	58		1	1	1	1	1	1	3	6	44		3		
	上川	71			1	1	1	1	1	3	6	57	1	2		
	金谷	63			1	1	1	1	1	2	6	50		2		
	三岳	56			1	1	1	1	1	2	6	43		2		
	金山	50			1	1	1	1	1	3	6	36		4		
	雲原	42			1	1	1	1	1	2	3	32		2		
三和	菟原	96		1	1	1	1	1	1	4	4	83	1	3		
	細見	111			1		1	1	1	5	6	96	1	4		
	川合	36			1	1	1	1	1	3	3	25	1	2		
夜久野	上夜久野	85		1	1	1	1	1	1	4	9	67	1	4	1	
	中夜久野	62			1	1	1	1	1	3	6	48	1	2		1
	下夜久野	78			1	1	1	1	1	5	10	58	1	5		
大江	河守	77		1	1	1	1	1	1	4	11	57		2	2	
	河守上	65			1	1	1	1	1	4	7	49		1	3	
	河西	42			1	1	1	1	1	3	5	29		1	1	
	河東	58			1	1	1	1	1	3	6	44		1	1	
	有路上	55			1	1	1	1	1	3	3	44		2	1	
	有路下	51			1	1	1	1	1	3	3	40		1	1	
合計		1,964	1	6	29	28	29	29	30	98	181	1,533	9	79	13	1

※ 団本部の副団長は、各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(平成23年4月1日)

年齢別	合計	平均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,964	38.7	0	200	907	710	146	1

在職年数別消防団員数

(平成23年4月1日)

年数別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,964	498	509	350	327	164	97	19

水防



水防の概要

本市における水害として、由良川・土師川等の破堤・溢流による外水氾濫と、由良川への雨水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。福知山市が位置する福知山盆地は、非常に低く由良川と牧川の合流点付近では標高 12mに過ぎません。したがって、由良川等の堤防が決壊した場合には、本市全域にわたる広い範囲で外水による浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため、人的被害及び建物被害等が生じる危険性が高く、更に水位が下がるまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大が予想されます。

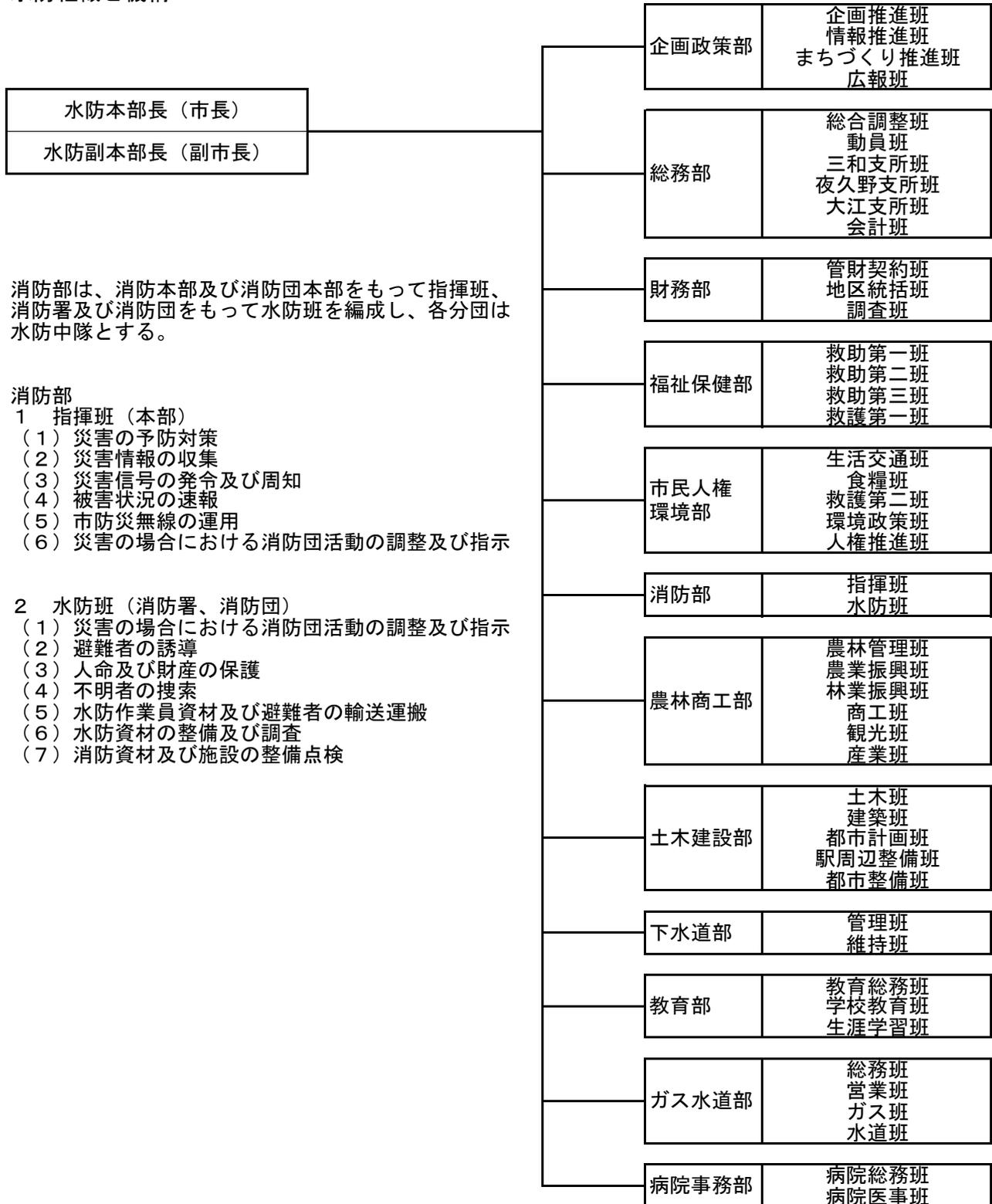
一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や回りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地、旧河道などです。このような地形では雨水が集まりやすく、水害の危険性は最も高くなります。しかし、支流和久川改修、法川排水機場の完成等によって、内水氾濫はほぼ解消され、また、本川の築堤や掘削も着々と進み、市民の水害から免れたいという悲願は実りつつあります。

しかしながら、平成 16 年の台風 23 号では、10 月 19 日より断続的に降り始めた雨により総雨量 279 mmに達し、由良川の水位も上昇し、20 日の 15 時には指定水位の 2 mを、17 時には警戒水位の 4 mを突破し、22 時 20 分には、最高水位 7 m55cm を記録しました。このような状況下において、農村部では河川の氾濫や堤防の欠損・溢水が起こり、家屋・耕地・主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	倒壊流失家屋	371 戸	死傷者 200 名
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m	倒壊流失家屋	350 戸	
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m	倒壊流失家屋 浸水家屋	67 戸 3,058 戸	死傷者 7 名
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m	倒壊流失家屋 浸水家屋	30 戸 3,006 戸	
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m 総雨量 95.0mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	111 戸 5,083 戸	死傷者 5 名
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m 総雨量 254.3mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	1,664 戸 3,836 戸	死傷者 792 名
昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 総雨量 243.0mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	113 戸 5,117 戸	負傷者 26 名
昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm	倒壊家屋 浸水家屋	76 戸 19 戸	死傷者 9 名
平成 16 年 10 月 20 日～ 21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm	倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 浸水家屋	63 戸 844 戸	

水防組織と機構



消防トピックス

- ・ **ドクターヘリ システムの概要**
- ・ **東日本大震災に伴う緊急消防援助隊出動概要**
- ・ **住宅用火災警報器について**





東日本大震災に伴う緊急消防援助隊出動概要

1 地震発生状況

- ・平成 23 年 3 月 11 日(金) 14 時 46 分 18 秒 地震発生
- ・震源：太平洋三陸沖 震源の深さ 24 km
- ・規模：マグニチュード 9.0 最大震度 7

2 緊急消防援助隊出動要請

- ・平成 23 年 3 月 11 日(金) 15 時 45 分 出動準備事前連絡
- ・平成 23 年 3 月 11 日(金) 18 時 30 分 出動命令
- ・平成 23 年 3 月 11 日(金) 19 時 50 分 第 1 次派遣隊出動

タンク 1 号車・東資材搬送車

3 緊急消防援助隊活動人員・期間

隊名	人数	派遣期間
第 1 次隊	5 名	3 月 11 日(金) 19 時 50 分～3 月 16 日(水) 6 時 20 分
第 2 次隊	6 名	3 月 14 日(月) 10 時 00 分～3 月 18 日(金) 20 時 20 分
第 3 次隊	6 名	3 月 17 日(木) 5 時 35 分～3 月 21 日(月) 15 時 19 分
第 4 次隊	6 名	3 月 20 日(日) 4 時 35 分～3 月 24 日(木) 18 時 52 分
第 5 次隊	5 名	3 月 23 日(水) 5 時 40 分～3 月 27 日(日) 14 時 40 分
第 6 次隊	2 名	3 月 26 日(土) 5 時 33 分～3 月 30 日(水) 12 時 15 分
第 7 次隊	2 名	3 月 29 日(火) 5 時 35 分～4 月 2 日(土) 17 時 16 分
第 8 次隊	3 名	4 月 1 日(金) 5 時 45 分～4 月 2 日(土) 17 時 16 分

※延べ活動人員：35 名 延べ活動日数：23 日間 延べ活動時間：32 日 11 時間 43 分

4 活動拠点

- ・3 月 12 日(土) 宮城県登米市「なかだアリーナ」を活動拠点として活動決定
- ・3 月 13 日(日)～ 4 月 2 日(土) 南三陸町志津川地区を中心に活動

5 活動内容

- ・がれき内での生存者捜索救出活動
- ・行方不明者捜索活動
- ・後方支援活動

6 参考

緊急消防援助隊とは

日本における全国的な消防応援体制による部隊で、今回のような大規模災害等発生時において、被災地の消防本部の消防力を持っても対処困難な場合、国等の要請により他都道府県の消防本部が被災地に出動して災害活動等、応援を行います。

阪神淡路大震災を契機に平成 7 年に制定されたもので、各都道府県単位で部隊編成がなされ、福知山市消防本部は京都府隊として活動しました。





住宅用火災警報器普及率調査結果

アンケート調査の概要

消防法及び福知山市火災予防条例の改正により、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。住宅用火災警報器設置の猶予期限(平成23年5月31日)がせまり、設置状況を把握し今後の普及率の向上に向けて方策を検討する資料とするためアンケート調査を実施しました。

調査期間 平成23年2月15日～3月末まで

調査回収率 郵送 800人 回収 398人 回収率 49.8%

調査結果の概要

今回の調査(平成23年3月)で福知山市の住宅用火災警報器の設置率は70%となりました。前回調査(平成22年1月)では61%でしたので9%UPという結果になりました。猶予期限までわずかとなり、徐々に普及しているものと思われます。しかし、今後、未設置、設置必要数を満たしていない、設置はしているが義務化されている箇所に未設置の方々に住宅用火災警報器の重要性・必要性を理解していただけるよう、設置促進活動を行います。

設置の支援事業については、平成21年6月から【取付けお助け隊】が発足しておりますが、「知らない」と回答された方が57%あり、これからもっと市民の皆様に認識してもらう必要があります。

今回の調査結果を踏まえ、引き続き更なる住宅用火災警報器の、早期設置の普及に努めていきます。

◎住宅用火災警報器の設置状況

内 容	回 答	比 率
設置している	278	70.0%
設置していない	105	26.5%
空白・未回答	14	3.5%
回答数合計	397	100.0%

◎設置義務化をご存知ですか(設置していない方)

内 容	回 答	比 率
設置期限も含め知っている	53	50.5%
義務化は知っているが設置期限は知らない	43	40.9%
知らない	7	6.7%
空白・未回答	2	1.9%
回答数合計	105	100.0%

◎年齢構成別による設置状況

内 容	設置済	未設置	合 計	設置比率
65歳以上の方はお住まいになっていない	111	46	157	70.7%
65歳以上の方もお住まいになっている	78	45	123	63.4%
65歳以上の方だけでお住まいになっている	88	26	114	77.2%
年齢未記入	1	2	3	
合 計	278	119	397	

◎住宅形式別設置状況

内 容	設置済	未設置	未記入	合 計	設置比率
一戸建て【借家含む】	213	93	11	317	67.2%
共同住宅	61	9	2	72	84.7%
店舗・事務所併用住宅	4	3	1	8	50.0%
合 計	278	105	14	397	70.0%

◎奏功事例

- ◆天ぷら調理中に台所を離れ、2階で家事をしていたところ、住宅用火災警報器の音に気づき台所に戻ると鍋から黒い煙が立ち上がっていたのでガスの元栓を閉め、火災には至らなかった。
- ◆就寝中に布団がハロゲンヒーターに接触して燃えたが、住宅用火災警報器が作動し警報音が鳴ったため、その音に気づき目を覚まし大事に至らなかった。

◎取付けお助け隊による住宅用火災警報器の設置写真



平成22年版 消 防 年 報

〒620-8501 京都府福知山市字内記 13 番地の 1
福知山市消防本部

TEL 0773-24-0119 / FAX 0773-23-6537

URL <http://www.city.fukuchiyama.kyoto.jp>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.kyoto.jp